

**長野県民の結婚・出産・子育て  
に関する調査**

**報告書**

**令和元年9月**

**長野県将来世代応援県民会議**

## 目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査設計.....	1
(3) 回答者基本属性.....	1
(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 婚姻状況.....	2
(2) 独身者の結婚に対する意識.....	3
(3) 既婚者の結婚生活の状況.....	27
(4) 働き方に関する現状.....	30
(5) 出産や子育てに関する意識と現状.....	37
附属資料（調査票）.....	60

### ＜報告書の見方＞

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0 の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報	
比率の差の検定 対 TOTAL 行と比較した結果を数表に表示 ※経年比較の場合は、対令和元年度調査(今回調査)と比較	有意水準 5%で高い
	有意水準 5%で低い

- 女性 18～34 歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる問である。「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{希望出生率} &= (\text{女性 18～34 歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\
 &+ \text{女性 18～34 歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\
 &\times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\
 &\times \text{離死別等の影響}
 \end{aligned}$$



# 1. 調査概要

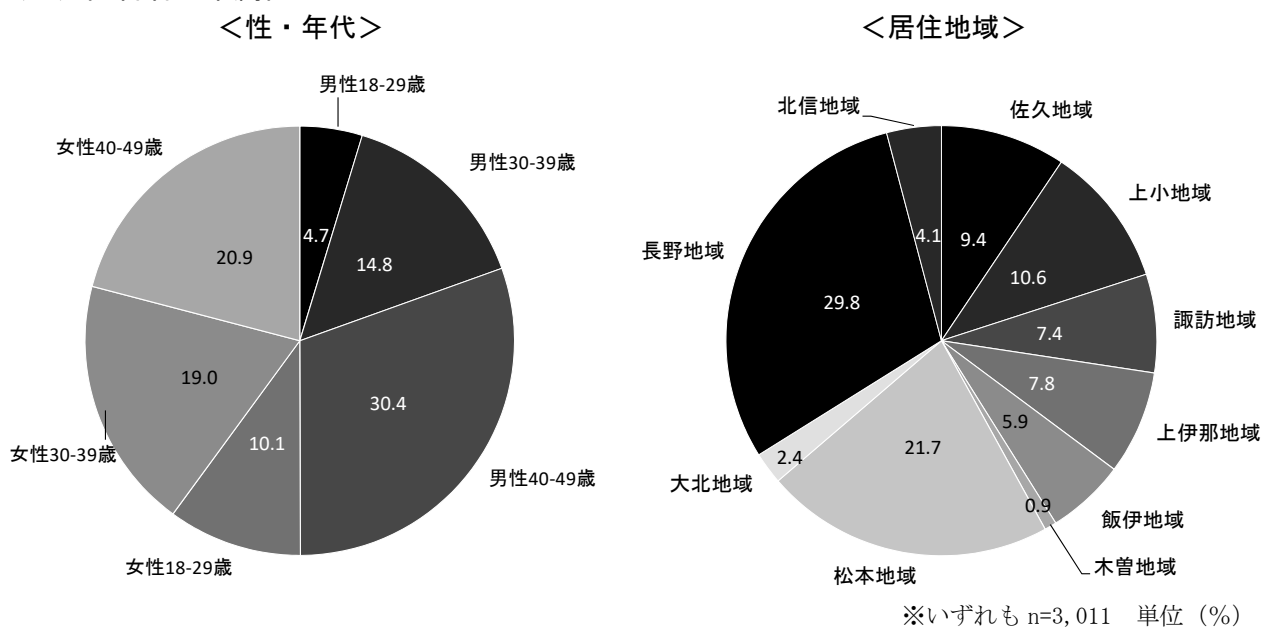
## (1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合5か年計画）」、「長野県子ども・若者支援総合計画」等の評価指標の検証に活用する。

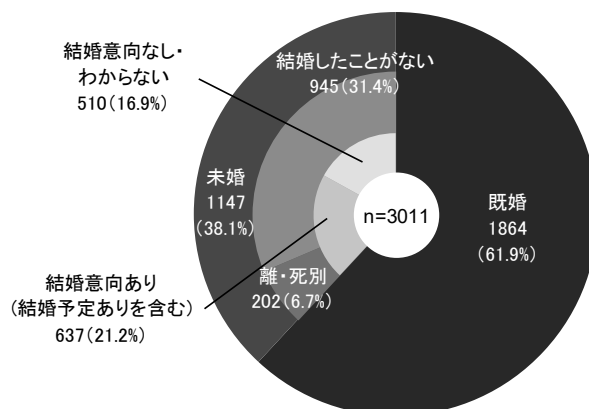
## (2) 調査設計

調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニター（マイティモニター）より抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,011
調査実施時期	令和元年7月25日～令和元年7月29日

## (3) 回答者基本属性



## (4) 回答者の結婚等に対する意向・実態



## 2. 調査結果

### (1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

既婚者の割合は61.9%、独身者の割合は38.1%である。

性・年代別にみると、女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。

■ 現在、結婚(事実婚を含む)している    ■ 結婚していたが、現在は離・死別した    ■ 結婚したことはない

		n=	(% )		
	TOTAL	3011	61.9	6.7	31.4
* 性年代	■ 男性 計	1505	59.5	5.7	34.8
	10・20代	143	18.2	0.7	81.1
	30代	446	62.6	4.3	33.2
	40代	916	64.4	7.2	28.4
	■ 女性 計	1506	64.3	7.7	28.0
	10・20代	304	42.4	1.6	55.9
	30代	573	69.8	5.8	24.4
	40代	629	70.0	12.4	17.6

(2) 独身者の結婚に対する意識

問5 あなたのご両親と現在のあなたとの同居／別居についてうかがいます。(回答は1つ)

【回答者：独身者】

独身者のうち、父親と同居しているのは50.0%、徒歩で30分程度の別居(近居)は11.5%である。また、母親と同居しているのは61.5%、徒歩で30分程度の別居(近居)は12.7%である。

性・年代別にみると、男性30代では同居の割合が高く(父親：59.3%、母親：68.9%)、女性40代では同居の割合は低い(父親：42.3%、母親：51.9%)。

① 父親との同居状況

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いない

		n=	(% )			
	TOTAL	1147	50.0	11.5	17.1	21.4
* 性年代	■男性 計	610	51.8	9.7	16.6	22.0
	10・20代	117	56.4	10.3	21.4	12.0
	30代	167	59.3	7.8	18.0	15.0
	40代	326	46.3	10.4	14.1	29.1
	■女性 計	537	48.0	13.6	17.7	20.7
	10・20代	175	53.7	4.6	28.0	13.7
	30代	173	48.6	20.8	12.7	17.9
	40代	189	42.3	15.3	12.7	29.6

② 母親との同居状況

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いない

		n=	(% )			
	TOTAL	1147	61.5	12.7	17.7	8.1
* 性年代	■男性 計	610	64.8	10.5	16.9	7.9
	10・20代	117	66.7	7.7	21.4	4.3
	30代	167	68.9	7.2	17.4	6.6
	40代	326	62.0	13.2	15.0	9.8
	■女性 計	537	57.7	15.3	18.6	8.4
	10・20代	175	64.6	5.7	25.1	4.6
	30代	173	57.2	19.7	14.5	8.7
	40代	189	51.9	20.1	16.4	11.6

**問6 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)**  
**【回答者：独身者】**

独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が35.7%、「2・3年以内に結婚したい」が8.7%である。「すでに結婚する予定がある」、「すぐにでも結婚したい」と合わせると、6割弱(55.5%)は結婚意向があると回答している。

「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向は73.3%となり、性・年代別にみると、女性10・20代の結婚意向が最も高く(87.2%)、女性40代の結婚意向が最も低い(47.7%)。

また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向は85.3%であった。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

	n=	(%)					
TOTAL	1147	3.3	7.8	8.7	35.7	20.2	24.2

＜「わからない」の回答を除いた場合＞

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

		n=	(%)				
TOTAL		869	4.4	10.4	11.5	47.1	26.7
* 性年代	■男性 計	448	2.5	11.4	10.9	50.7	24.6
	10・20代	101	3.0	3.0	15.8	61.4	16.8
	30代	125	2.4	14.4	12.8	51.2	19.2
	40代	222	2.3	13.5	7.7	45.5	31.1
	■女性 計	421	6.4	9.3	12.1	43.2	29.0
	10・20代	149	8.1	2.7	16.1	60.4	12.8
	30代	140	7.9	16.4	14.3	37.1	24.3
	40代	132	3.0	9.1	5.3	30.3	52.3

＜女性18-34歳の場合＞ (希望出生率の算出根拠)

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

	n=	(%)				
女性18-34歳	217	7.4	6.9	15.2	55.8	14.7

性・雇用形態別にみると、男女とも正規の社員・職員では、結婚意向があると回答した割合は約6割を占める。

男性の無職・家事では、他の性・雇用形態に比べて「わからない」が約4割と高い。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

		n=	(% )					
TOTAL		1061	3.5	8.4	9.2	33.8	20.5	24.5
* 性別×雇用形態	■男性 計	566	1.8	9.0	8.5	35.9	18.0	26.9
	正規の社員・職員	333	1.8	10.2	11.1	37.8	14.4	24.6
	パート・アルバイト	70	2.9	7.1	4.3	41.4	17.1	27.1
	派遣・嘱託・契約社員	50	2.0	8.0	4.0	34.0	24.0	28.0
	自営業主・家族従業員	61	1.6	11.5	8.2	31.1	23.0	24.6
	無職・家事	52	1.9	1.9	23.1	30.8		42.3
	■女性 計	495	5.5	7.7	10.1	31.5	23.4	21.8
	正規の社員・職員	231	6.1	9.5	13.4	33.3	20.3	17.3
	パート・アルバイト	138	3.6	5.8	8.0	31.9	31.2	19.6
	派遣・嘱託・契約社員	52	5.8	9.6	7.7	28.8	13.5	34.6
	自営業主・家族従業員	23	4.3	4.3	8.7	26.1	30.4	26.1
	無職・家事	51	7.8	3.9	3.9	27.5	23.5	33.3

※なお、「学生 67 人」「その他 19 人」を除いて計算している。



性・年収別にみると、男女ともに年収 200 万円台以下では「結婚するつもりはない」の割合が高くなっている（男性：26.4%、女性：25.1%）。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

		n=	(%)					
	TOTAL	958	3.4	9.0	9.9	34.8	19.8	23.1
* 性別 × 年収	■男性 計	514	1.9	9.7	9.1	37.2	16.7	25.3
	200万円台以下	106	0.9	5.7	7.5	40.6	26.4	18.9
	300万円台	77	2.6	9.1	15.6	37.7	16.9	18.2
	400万円台以上	159	3.1	17.0	10.7	35.8	11.3	22.0
	覚えていない・答えたくない	172	1.2	5.8	5.8	36.0	15.7	35.5
	■女性 計	444	5.2	8.1	10.8	32.0	23.4	20.5
	200万円台以下	171	4.1	8.2	11.1	35.7	25.1	15.8
	300万円台	73	11.0	11.0	12.3	32.9	20.5	12.3
	400万円台以上	45	8.9	6.7	20.0	33.3	17.8	13.3
	覚えていない・答えたくない	155	2.6	7.1	17.1	27.1	24.5	31.6

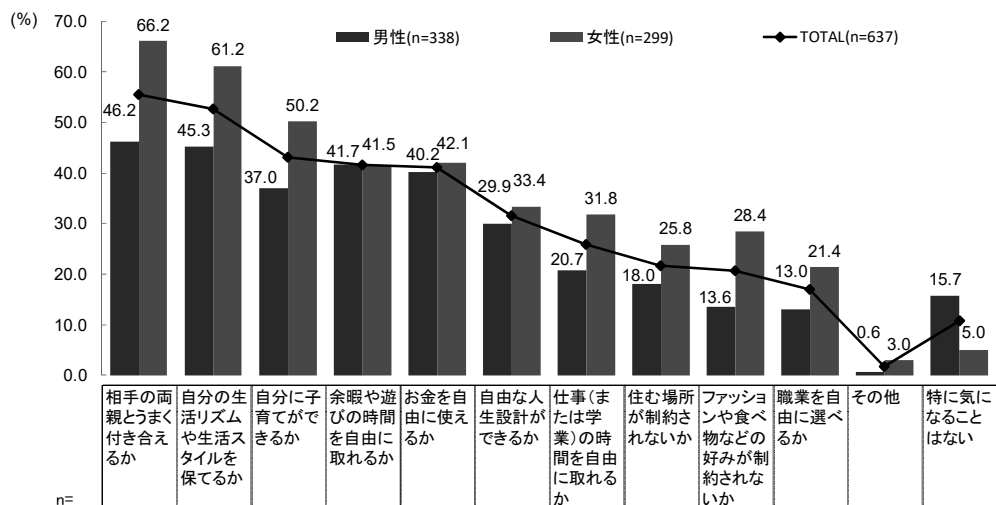
**問7 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。**  
**(回答はいくつでも) 【回答者：結婚予定・意向がある者】**

結婚を考えたときに気になることとしては、「相手の両親とうまく付き合えるか」(55.6%)が最も高く、以下、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(52.7%)、「自分に子育てできるか」(43.2%)と続く。

性・年代別にみると、女性の方が結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「相手の両親とうまく付き合えるか」(66.2%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(61.2%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(31.8%)、「ファッションや食べ物などの好みは制約されないか」(28.4%)、「住む場所が制約されないか」(25.8%)といった項目の割合が高いことから、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。また、「自分に子育てができるか」(50.2%)も高い。

また、男性10・20代では「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」が53.6%と最も高くなっている。

① 性・年代別

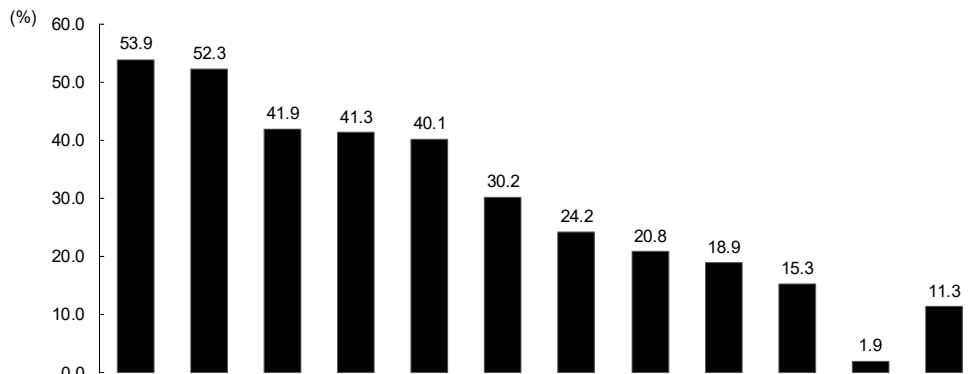


n=		相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	自分に子育てできるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みは制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に関心がない
TOTAL	637	55.6	52.7	43.2	41.6	41.1	31.6	25.9	21.7	20.6	17.0	1.7	10.7
■男性計	338	46.2	45.3	37.0	41.7	40.2	29.9	20.7	18.0	13.6	13.0	0.6	15.7
10・20代	84	44.0	42.9	35.7	53.6	41.7	41.7	29.8	25.0	17.9	16.7	0.0	13.1
30代	101	54.5	45.5	47.5	43.6	49.5	31.7	21.8	18.8	14.9	11.9	0.0	9.9
40代	153	41.8	46.4	30.7	34.0	33.3	22.2	15.0	13.7	10.5	11.8	1.3	20.9
■女性計	299	66.2	61.2	50.2	41.5	42.1	33.4	31.8	25.8	28.4	21.4	3.0	5.0
10・20代	130	65.4	57.7	60.0	49.2	41.5	35.4	35.4	23.8	28.5	24.6	0.8	4.6
30代	106	62.3	58.5	50.0	36.8	40.6	30.2	30.2	27.4	29.2	19.8	4.7	7.5
40代	63	74.6	73.0	30.2	33.3	46.0	34.9	27.0	27.0	27.0	17.5	4.8	1.6

※グラフはTOTALの順でソート

性・雇用形態別にみると、女性の正規の社員・職員は「相手の両親とうまく付き合えるか」(66.7%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(63.9%)、「自由な人生設計ができるか」(38.2%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(35.4%)といったライフスタイルの変化に対する懸念が強い。また、「自分に子育てができるか」(52.1%)も高い。

## ② 性・雇用形態別



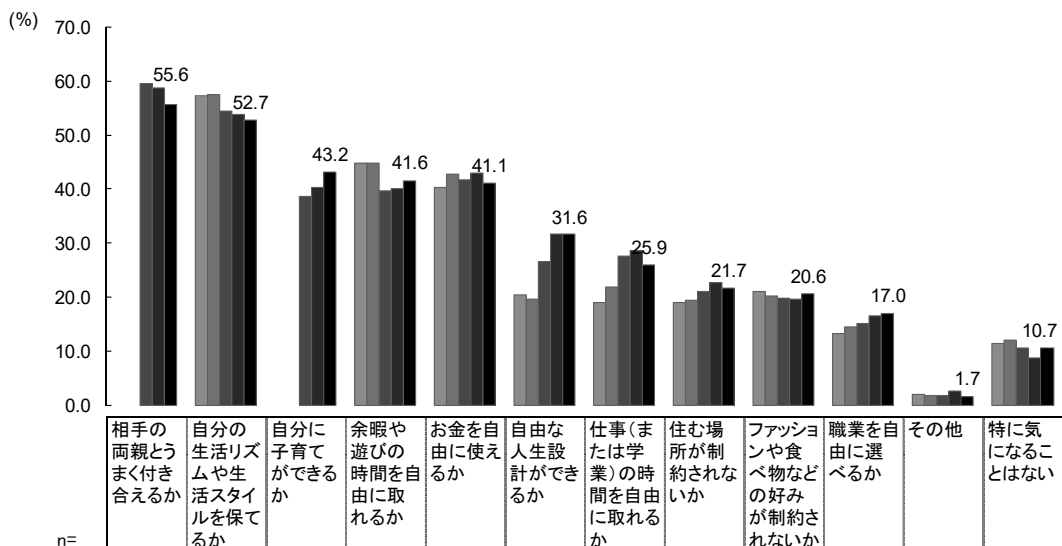
		n=	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	自分に子育てができるか	お金を自由に使えるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好み が制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		583	53.9	52.3	41.9	41.3	40.1	30.2	24.2	20.8	18.9	15.3	1.9	11.3
* 性別 × 雇用形態	■ 男性 計	312	44.2	44.9	35.9	39.7	40.1	26.9	19.2	16.7	11.2	11.5	0.6	16.7
	正規の社員・職員	203	44.3	45.8	34.5	38.9	39.9	25.1	18.7	15.3	9.9	8.4	0.5	17.7
	パート・アルバイト	39	38.5	38.5	30.8	41.0	38.5	38.5	23.1	23.1	15.4	12.8	0.0	12.8
	派遣・嘱託・契約社員	24	54.2	50.0	54.2	45.8	41.7	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	4.2	4.2
	自営業主・家族従業員	32	40.6	43.8	31.3	40.6	37.5	18.8	25.0	15.6	12.5	18.8	0.0	25.0
	無職・家事	14	50.0	42.9	50.0	35.7	50.0	42.9	21.4	21.4	21.4	42.9	0.0	14.3
	■ 女性 計	271	64.9	60.9	48.7	43.2	40.2	33.9	29.9	25.5	27.7	19.6	3.3	5.2
	正規の社員・職員	144	66.7	63.9	52.1	44.4	43.8	38.2	35.4	26.4	25.0	18.8	2.1	3.5
	パート・アルバイト	68	58.8	57.4	39.7	39.7	36.8	27.9	20.6	26.5	30.9	23.5	4.4	5.9
	派遣・嘱託・契約社員	27	74.1	74.1	48.1	59.3	51.9	25.9	29.6	25.9	37.0	11.1	7.4	3.7
	自営業主・家族従業員	10	60.0	50.0	60.0	40.0	30.0	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0	10.0
無職・家事	22	63.6	40.9	50.0	27.3	18.2	27.3	18.2	9.1	18.2	13.6	4.5	13.6	

※なお、「学生 49 人」「その他 5 人」を除いて計算している。

平成 27～令和元年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、上位 5 項目には大きな変化はなかった。

### ③ 平成 27～令和元年度調査（今回調査）までの経年変化

■ 平成27年度調査(n=892) ■ 平成28年度調査(n=782) ■ 平成29年度調査(n=710) ■ 平成30年度調査(n=699) ■ 令和元年度調査(今回調査)(n=637)



※グラフは今回調査の順でソート

**問8 あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目についてどの程度重視しますか。(回答は1つ)**  
**【回答者：結婚予定・意向がある者】**

結婚相手を決めるときに重視する割合が高いのは、「相手の人から」(78.2%)、「家事・育児に対する能力や姿勢」(45.8%)、「自分の仕事に対する理解と協力」(32.2%)といった項目である。

一方、「相手の学歴」はあまり関係ないとする割合が高い。

■重視する                      ■考慮する                      ■あまり関係ない

	n=	(%)		
相手の学歴	637	2.8	26.2	71.0
相手の職業	637	9.1	43.3	47.6
相手の収入などの経済力	637	18.1	50.4	31.6
相手の人から	637	78.2	18.1	3.8
相手の容姿	637	19.5	59.5	21.0
相手の家族構成・状況	637	12.1	51.2	36.7
共通の趣味の有無	637	20.9	43.5	35.6
自分の仕事に対する理解と協力	637	32.2	53.1	14.8
家事・育児に対する能力や姿勢	637	45.8	45.8	8.3

相手の学歴、職業、収入などの経済力は、いずれも女性の方が「重視する」または「考慮する」と回答する割合が高い。特に職業と経済力に対する考え方は男女差が大きく、女性では職業を「重視する」との回答が2割弱、経済力を「重視する」との回答が約3割なのに対し、男性ではどちらも1割未満である。

① 相手の学歴

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	2.8	26.2	71.0	
* 性年代	■男性 計	338	0.9	21.3	77.8	
	10・20代	84	1.2	21.4	77.4	
	30代	101		25.7	74.3	
	40代	153	1.3	18.3	80.4	
	■女性 計	299	5.0	31.8	63.2	
	10・20代	130	3.8	30.0	66.2	
	30代	106	3.8	31.1	65.1	
	40代	63	9.5	36.5	54.0	

② 相手の職業

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	9.1	43.3	47.6	
* 性年代	■男性 計	338	2.1	33.7	64.2	
	10・20代	84	1.2	39.3	59.5	
	30代	101	3.0	38.6	58.4	
	40代	153	2.0	27.5	70.6	
	■女性 計	299	17.1	54.2	28.8	
	10・20代	130	13.1	54.6	32.3	
	30代	106	20.8	52.8	26.4	
	40代	63	19.0	55.6	25.4	

③ 相手の収入などの経済力

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	18.1	50.4	31.6	
* 性年代	■男性 計	338	5.3	43.5	51.2	
	10・20代	84	9.5	39.3	51.2	
	30代	101	3.0	54.5	42.6	
	40代	153	4.6	38.6	56.9	
	■女性 計	299	32.4	58.2	9.4	
	10・20代	130	28.5	57.7	13.8	
	30代	106	35.8	55.7	8.5	
	40代	63	34.9	63.5	1.6	

相手の人がらについては、女性の方が重視する割合が高く、いずれの年代でも9割前後となっている。相手の容姿を重視するのは男女ともに1～2割である。

家族構成・状況を重視するのは男性では1割未満であるのに対し、女性ではほぼ2割と、女性の方が重視する傾向にある。

④ 相手の人がら

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	78.2	18.1	3.8	
* 性年代	■男性 計	338	67.8	26.6	5.6	
	10・20代	84	63.1	29.8	7.1	
	30代	101	74.3	21.8	4.0	
	40代	153	66.0	28.1	5.9	
	■女性 計	299	90.0	8.4	1.7	
	10・20代	130	90.0	8.5	1.5	
	30代	106	91.5	6.6	1.9	
	40代	63	87.3	11.1	1.6	

⑤ 相手の容姿

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	19.5	59.5	21.0	
* 性年代	■男性 計	338	21.0	61.5	17.5	
	10・20代	84	21.4	59.5	19.0	
	30代	101	24.8	58.4	16.8	
	40代	153	18.3	64.7	17.0	
	■女性 計	299	17.7	57.2	25.1	
	10・20代	130	22.3	46.9	30.8	
	30代	106	13.2	67.0	19.8	
	40代	63	15.9	61.9	22.2	

⑥ 相手の家族構成・状況

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	12.1	51.2	36.7	
* 性年代	■男性 計	338	5.3	47.9	46.7	
	10・20代	84	7.1	36.9	56.0	
	30代	101	3.0	56.4	40.6	
	40代	153	5.9	48.4	45.8	
	■女性 計	299	19.7	54.8	25.4	
	10・20代	130	16.9	53.1	30.0	
	30代	106	17.9	55.7	26.4	
	40代	63	28.6	57.1	14.3	

共通の趣味の有無については、重視するのは男女とも1～2割、自分の仕事に対する理解と協力については、男性が2割強に対して女性は4割前後が重視している。

家事・育児に対する能力や姿勢については、女性10・20代、女性30代の6割前後が重視すると回答している。

⑦ 共通の趣味の有無

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	20.9	43.5	35.6	
* 性年代	■男性 計	338	18.0	47.3	34.6	
	10・20代	84	28.6	46.4	25.0	
	30代	101	15.8	46.5	37.6	
	40代	153	13.7	48.4	37.9	
	■女性 計	299	24.1	39.1	36.8	
	10・20代	130	30.0	33.8	36.2	
	30代	106	13.2	48.1	38.7	
	40代	63	30.2	34.9	34.9	

⑧ 自分の仕事に対する理解と協力

		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	32.2	53.1	14.8	
* 性年代	■男性 計	338	24.0	60.4	15.7	
	10・20代	84	26.2	57.1	16.7	
	30代	101	27.7	58.4	13.9	
	40代	153	20.3	63.4	16.3	
	■女性 計	299	41.5	44.8	13.7	
	10・20代	130	50.8	38.5	10.8	
	30代	106	31.1	51.9	17.0	
	40代	63	39.7	46.0	14.3	

⑨ 家事・育児に対する能力や姿勢

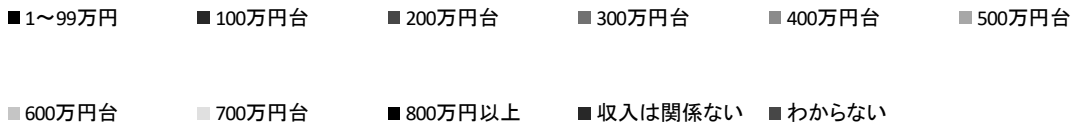
		n=	■重視する	■考慮する	■あまり関係ない	(%)
TOTAL		637	45.8	45.8	8.3	
* 性年代	■男性 計	338	35.2	54.1	10.7	
	10・20代	84	33.3	59.5	7.1	
	30代	101	41.6	50.5	7.9	
	40代	153	32.0	53.6	14.4	
	■女性 計	299	57.9	36.5	5.7	
	10・20代	130	63.8	32.3	3.8	
	30代	106	58.5	36.8	4.7	
	40代	63	44.4	44.4	11.1	



問9 結婚生活を送るにあたって相手に求める年収(税込)は、どのくらいですか。あてはまるものをお選びください。(回答は1つ) 【回答者：結婚予定・意向がある者】

結婚相手に求める年収としては、「300万円台」が18.2%と最も高く、次いで「400万円台」が11.8%、500万円台が11.3%となっている。

性・年代別にみると、男性が相手に求める年収は、「収入は関係ない」が26.6%と最も高く、続いて「300万円台」が22.2%、「200万円台」が14.2%となっている。女性が相手に対して求める年収は、「500万円台」が21.4%と最も高く、続いて「400万円台」が19.4%、「300万円台」が13.7%となっている(「わからない」を除く)。一方、「収入は関係ない」と回答した女性は4.3%と男性に比べ著しく低く、女性が結婚相手の経済力を重視していることがうかがえる。

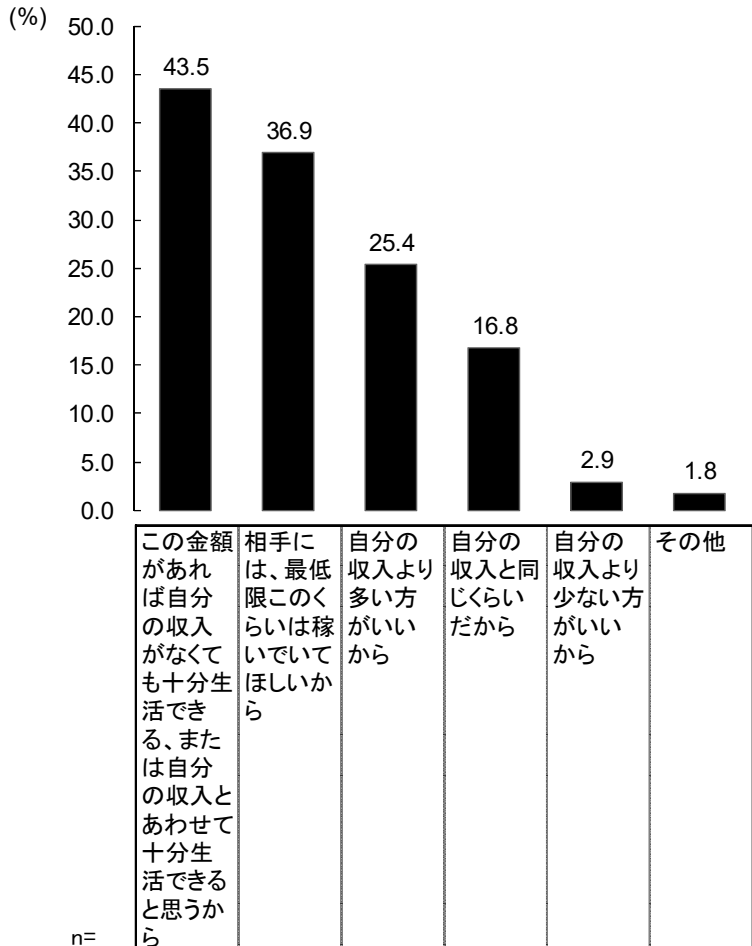


		n=	(%)									
TOTAL		637	0.8	2.8	9.3	18.2	11.8	11.3	3.8	0.6	16.2	23.9
* 性年代	■ 男性 計	338	1.2	4.7	14.2	22.2	5.0	2.4	0.3	26.6	23.4	
	10・20代	84	6.0	15.5	22.6	7.1	1.2	17.9	28.6			
	30代	101	2.0	3.0	15.8	25.7	4.0	3.0	18.8	27.7		
	40代	153	1.3	5.2	12.4	19.6	4.6	2.6	36.6	17.6		
	■ 女性 計	299	0.3	0.7	3.7	13.7	19.4	21.4	8.0	3.0	1.0	24.4
	10・20代	130	1.5	6.2	12.3	16.9	16.2	10.8	2.3	4.6	29.2	
	30代	106	0.9	2.8	15.1	23.6	21.7	5.7	2.8	0.9	5.7	20.8
	40代	63	14.3	17.5	31.7	6.3	4.8	3.2	1.6	20.6		

問10 前問でお答えになった金額を希望する理由は何ですか。(回答はいくつでも)  
 【回答者：希望する金額がある者】

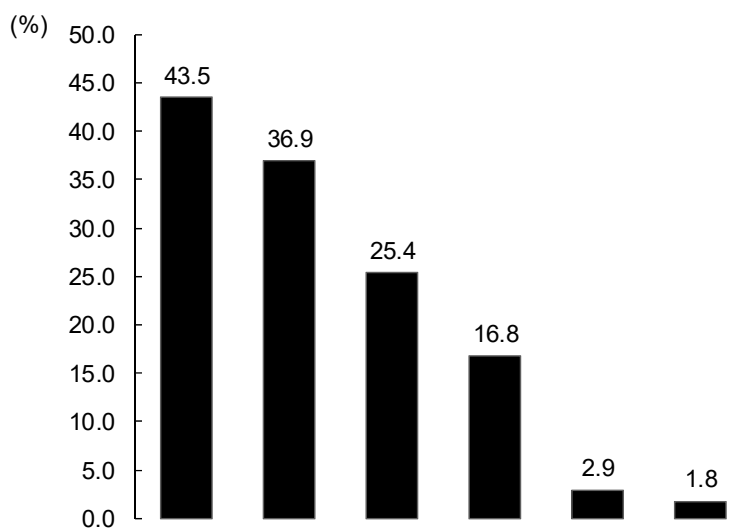
結婚相手に求める年収の金額を希望する理由については、「この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから」が43.5%と最も高い。

性・年代別にみると、男性10・20代は「自分の収入と同じくらいだから」が33.3%と高い。10・20代および女性30代は「自分の収入より多い方がいいから」(10・20代：40.7%、30代：41.0%)がそれぞれ高い。



		n=	この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから	相手には、最低限このくらいは稼いでほしいから	自分の収入より多い方がいいから	自分の収入と同じくらいだから	自分の収入より少ない方がいいから	その他
TOTAL		382	43.5	36.9	25.4	16.8	2.9	1.8
* 性年代	■男性 計	169	43.2	37.3	7.1	24.9	5.3	3.6
	10・20代	45	37.8	42.2	6.7	33.3	8.9	2.2
	30代	54	42.6	33.3	7.4	27.8	1.9	1.9
	40代	70	47.1	37.1	7.1	17.1	5.7	5.7
	■女性 計	213	43.7	36.6	39.9	10.3	0.9	0.5
	10・20代	86	39.5	34.9	40.7	12.8	1.2	0.0
	30代	78	50.0	41.0	41.0	7.7	1.3	1.3
	40代	49	40.8	32.7	36.7	10.2	0.0	0.0

結婚相手に求める年収別にみると、300万円未満では「相手には、最低限このくらいは稼いでいてほしいから」が47.6%と高くなっている。

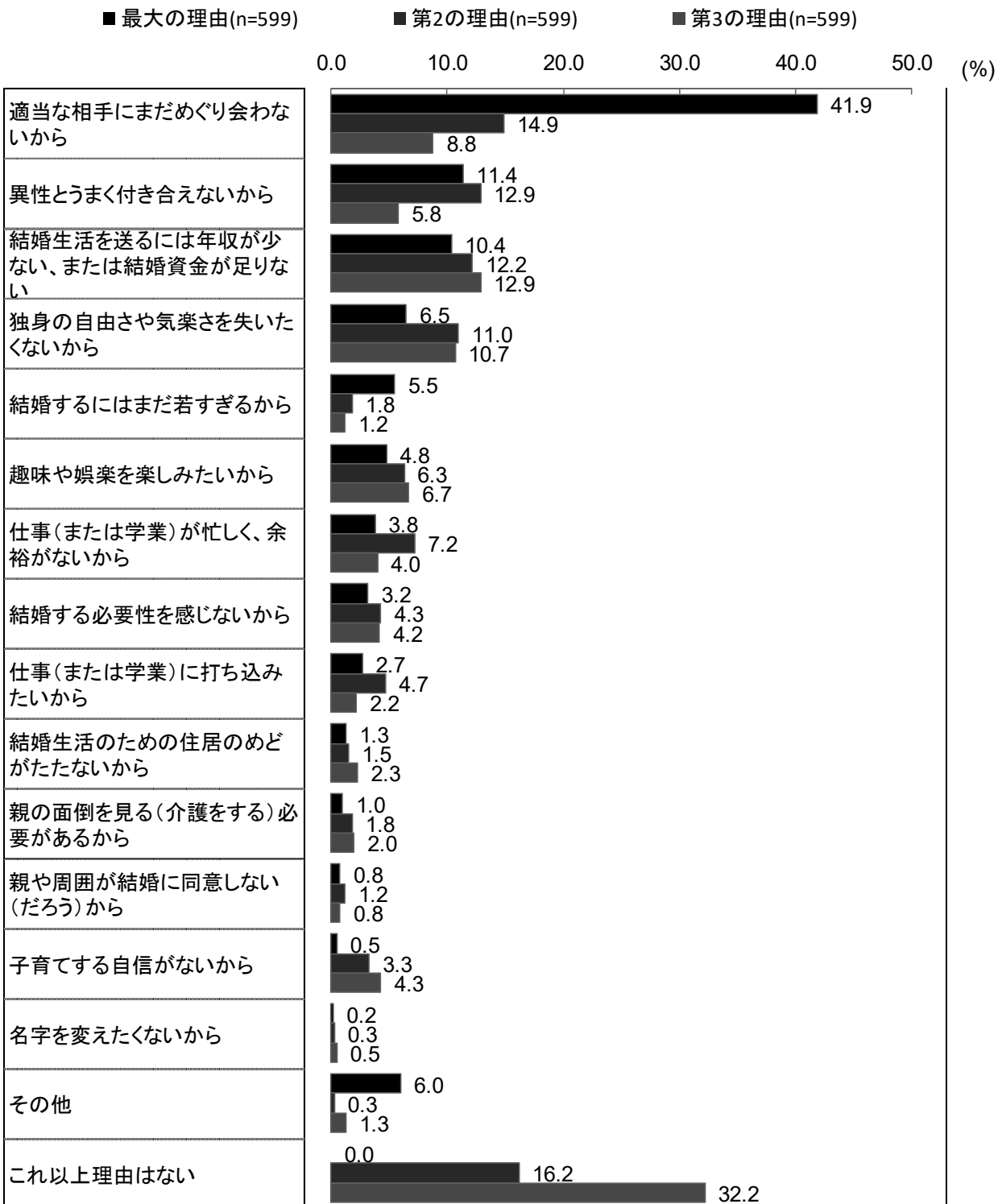


		n=	この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから	相手には、最低限このくらいは稼いでいてほしいから	自分の収入より多い方がいいから	自分の収入と同じくらいだから	自分の収入より少ない方がいいから	その他
TOTAL		382	43.5	36.9	25.4	16.8	2.9	1.8
* Q9 相手に求める年収	300万円未満	82	45.1	47.6	6.1	20.7	4.9	3.7
	300万円台	116	40.5	37.1	16.4	22.4	2.6	1.7
	400万円台	75	46.7	34.7	29.3	13.3	2.7	1.3
	500万円台	72	43.1	26.4	44.4	11.1	0.0	0.0
	600万円以上	37	43.2	37.8	51.4	8.1	5.4	2.7

問11 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ)  
 【回答者：結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）、結婚意向がない者】

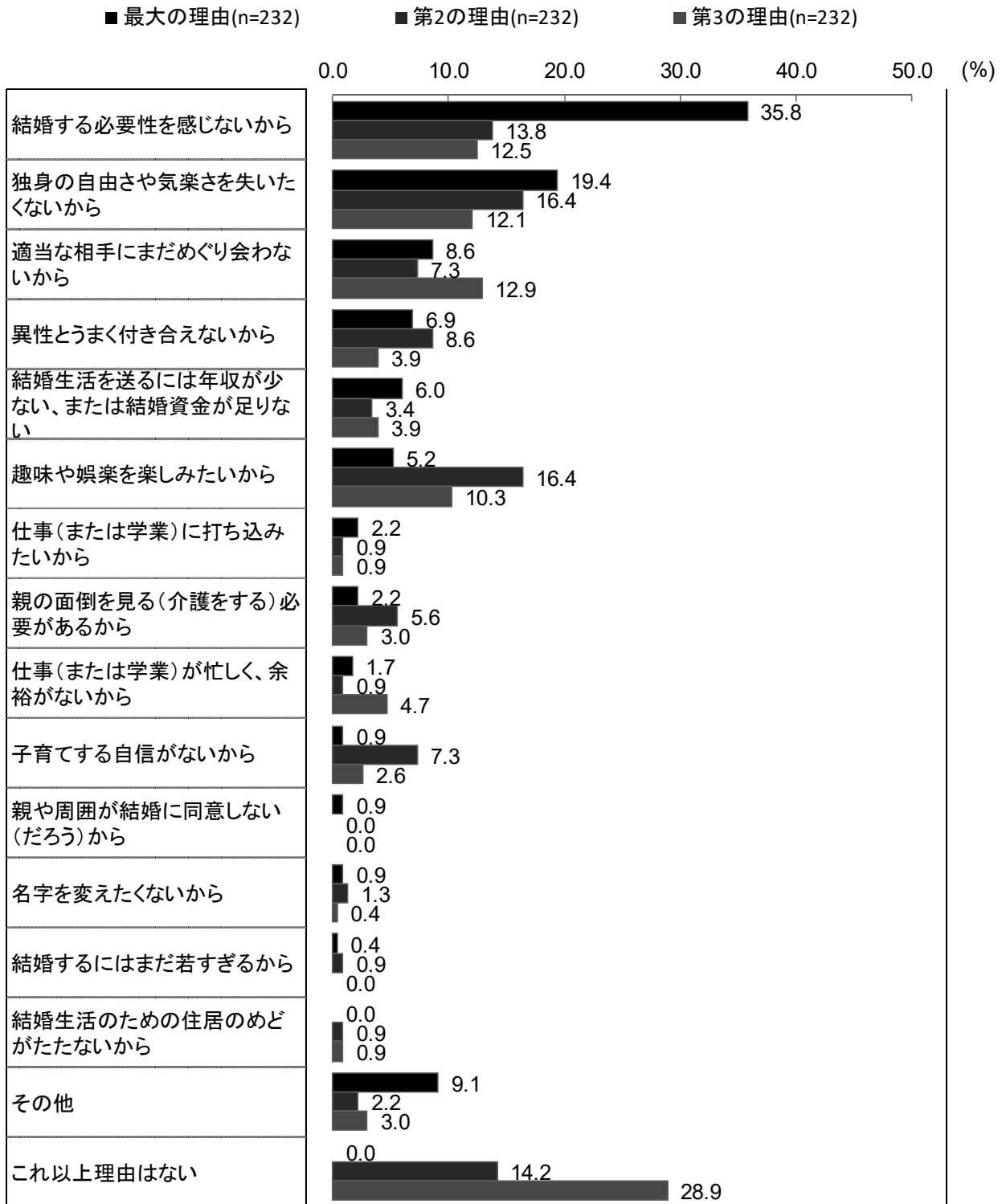
現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」(41.9%)が最も高く、以下、「異性とうまく付き合えないから」(11.4%)、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(10.4%)と続く。

<「結婚意向あり」の場合（「結婚予定あり」を除く）>



現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「結婚する必要性を感じないから」(35.8%)が最も高く、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(19.4%)と続いており、現在のライフスタイルを維持したい意向がうかがえる。

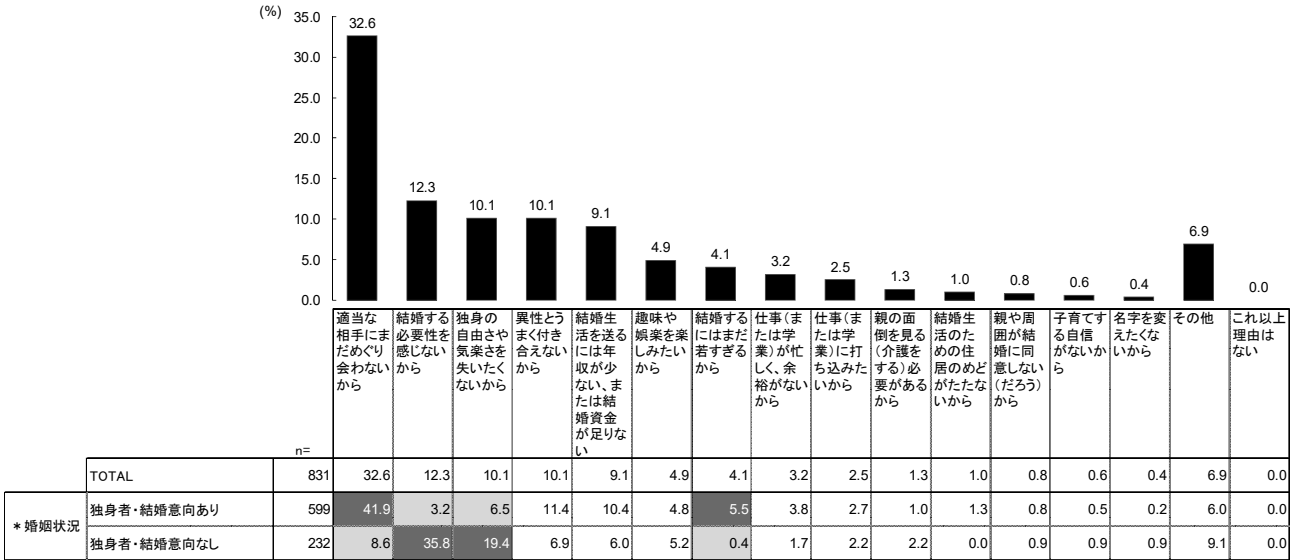
<「結婚意向なし」の場合>



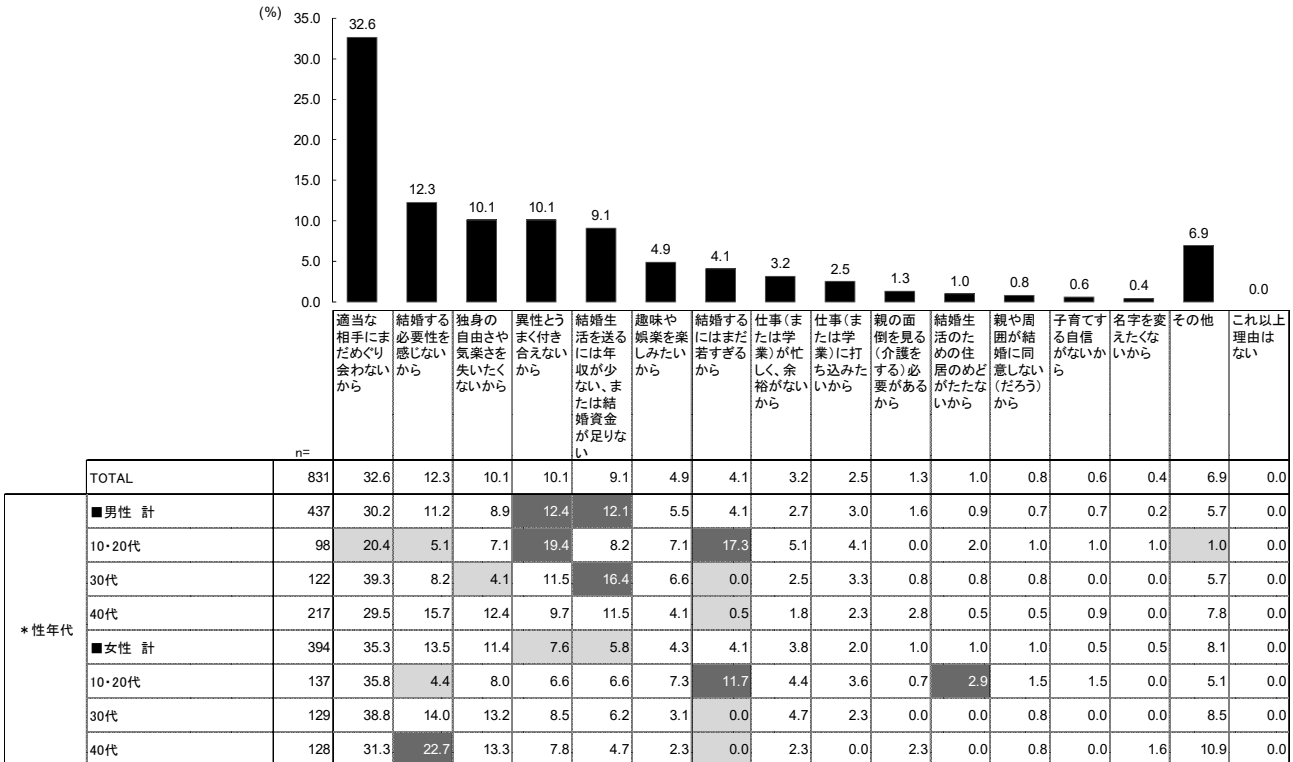
現在独身でいる最大の理由を結婚意向の有無別にみると、結婚意向がある者は「適当な相手にまだめぐり会わないから」(41.9%)を理由とする割合が高い。一方、結婚意向がない者は「結婚する必要性を感じないから」(35.8%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(19.4%)が主な理由となっている。

性・年代別にみると、男女ともに10・20代は「結婚するにはまだ若すぎるから」(男性：17.3%、女性：11.7%)を理由とする割合が高い。また、男性10・20代は「異性とうまく付き合えないから」(19.4%)が高い。

＜最大の理由：結婚意向の有無別の場合＞



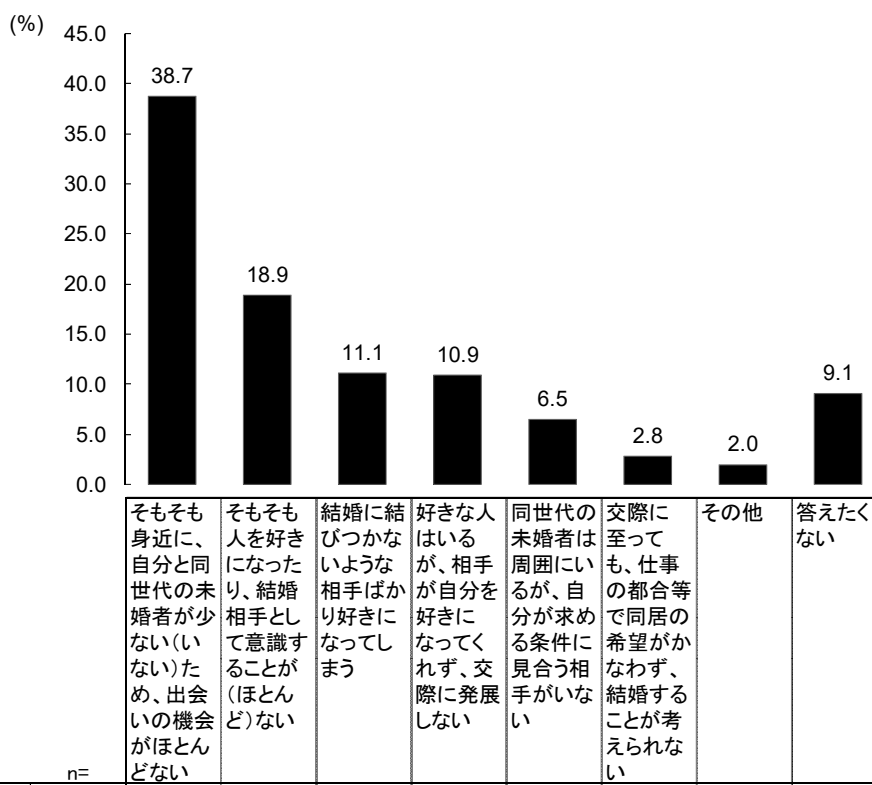
＜最大の理由：性・年代別の場合＞



問12 「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)  
 【回答者：問11で「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した者】

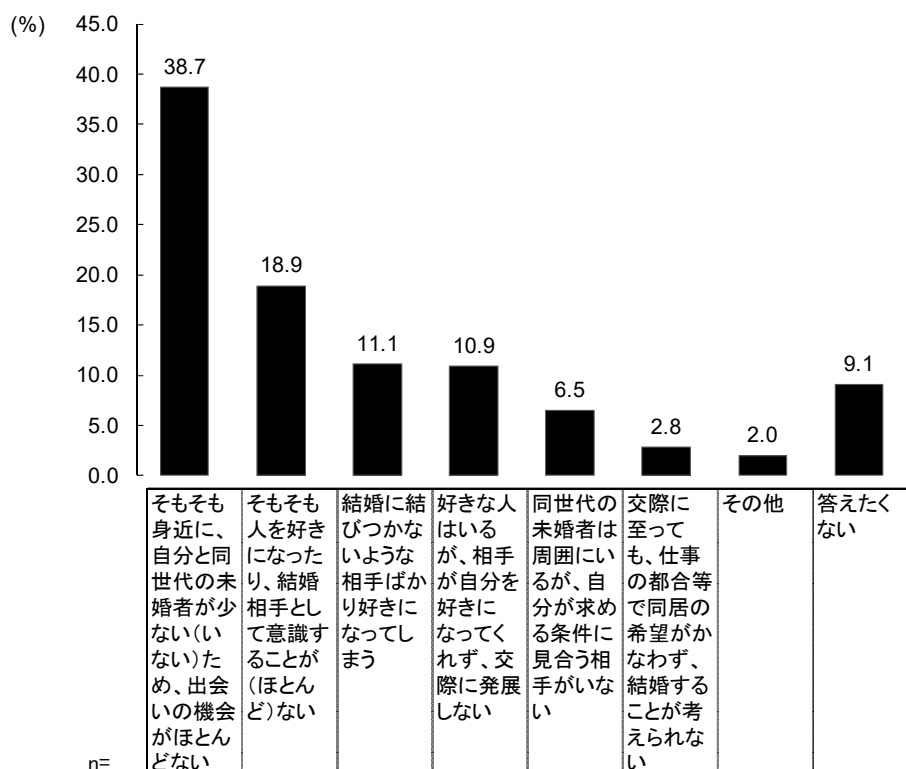
現在独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な理由については、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が38.7%と最も高い。

性・年代別にみると、男女とも「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が43.3% (男性)、33.6% (女性)とそれぞれ最も高い。また、女性10・20代では、「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」が29.7%と最も高い。



		n=	38.7	18.9	11.1	10.9	6.5	2.8	2.0	9.1
	TOTAL	460	38.7	18.9	11.1	10.9	6.5	2.8	2.0	9.1
* 性年代	■男性 計	240	43.3	14.6	9.6	11.3	5.4	2.5	2.5	10.8
	10・20代	46	37.0	15.2	8.7	6.5	6.5	4.3	6.5	15.2
	30代	81	44.4	16.0	6.2	16.0	4.9	0.0	2.5	9.9
	40代	113	45.1	13.3	12.4	9.7	5.3	3.5	0.9	9.7
	■女性 計	220	33.6	23.6	12.7	10.5	7.7	3.2	1.4	7.3
	10・20代	74	20.3	29.7	14.9	16.2	8.1	1.4	0.0	9.5
	30代	79	43.0	22.8	8.9	7.6	5.1	2.5	2.5	7.6
	40代	67	37.3	17.9	14.9	7.5	10.4	6.0	1.5	4.5

性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい」または「2・3年以内に結婚したい」と回答した男性では、他の性・結婚意向と比べ、「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」が23.4%と高い。

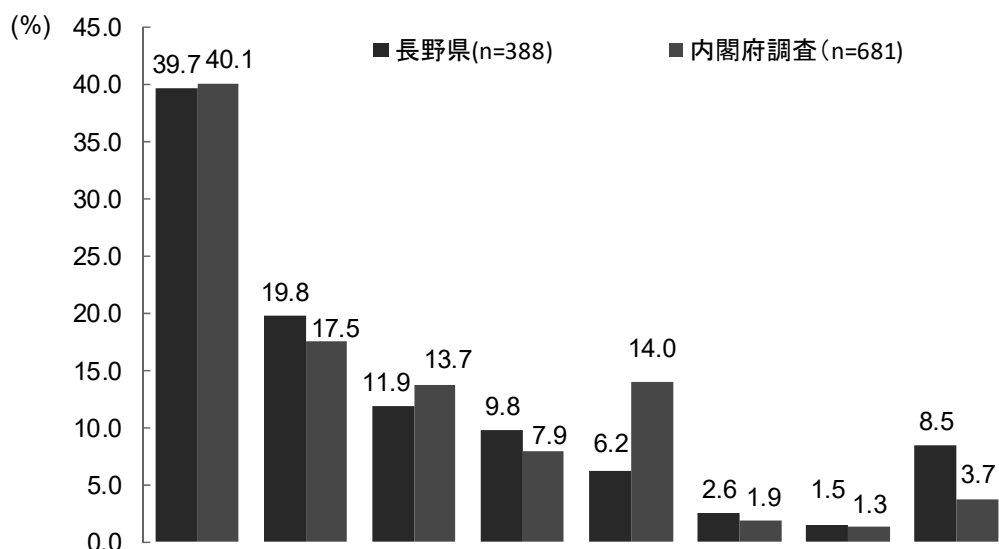


		n=	38.7	18.9	11.1	10.9	6.5	2.8	2.0	9.1
TOTAL		460	38.7	18.9	11.1	10.9	6.5	2.8	2.0	9.1
* 性別 × 結婚意向	■ 男性 計	240	43.3	14.6	9.6	11.3	5.4	2.5	2.5	10.8
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	64	46.9	1.6	12.5	23.4	7.8	1.6	3.1	3.1
	いずれは結婚したい	145	46.2	17.2	9.0	6.9	2.8	3.4	1.4	13.1
	結婚するつもりはない	31	22.6	29.0	6.5	6.5	12.9	0.0	6.5	16.1
	■ 女性 計	220	33.6	23.6	12.7	10.5	7.7	3.2	1.4	7.3
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	58	44.8	6.9	10.3	17.2	8.6	3.4	5.2	3.4
	いずれは結婚したい	126	31.7	26.2	14.3	10.3	7.9	2.4	0.0	7.1
	結婚するつもりはない	36	22.2	41.7	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0	13.9



全国を対象に実施した「平成 30 年度「少子化対策に関する意識調査」(内閣府)と比較した結果は以下のとおりである。

上位 4 項目に大きな違いはみられないが、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」は、内閣府調査が 14.0%に対し、長野県は 6.2%と低くなっている。



	n=	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない	好きな人はいるが、相手が自分を好きになっけず、交際に発展しない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになっけず、交際に発展しない	同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわらず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない
長野県	388	39.7	19.8	11.9	9.8	6.2	2.6	1.5	8.5
内閣府調査	681	40.1	17.5	13.7	7.9	14.0	1.9	1.3	3.7

※ともに 20~49 歳男女の未婚者(結婚したことはない)を対象として比較。

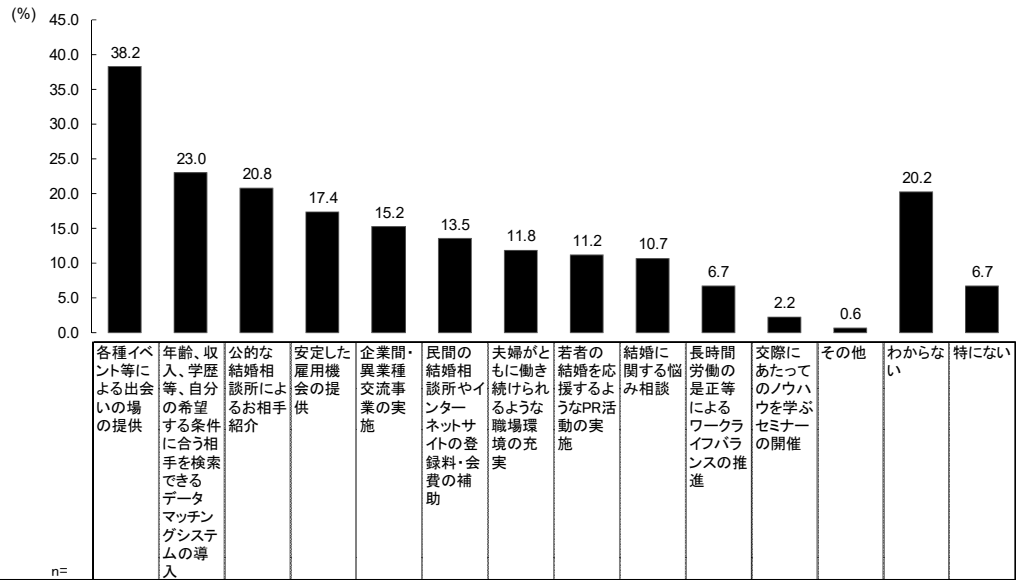
※内閣府調査と長野県調査の選択肢相違箇所

平成 30 年度「少子化対策に関する意識調査」(内閣府)	令和元年度調査(長野県)
結婚に結びつかないような相手(例:結婚願望のない未婚者や既婚者)ばかり好きになっけず、交際に発展しない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになっけず、交際に発展しない

問13 どのような環境、支援があれば出会いの機会が増えると思いますか。(回答は3つまで)  
 【回答者：問12で身近に出会いの機会がほとんどないと回答した者】

出会いの機会がどのようにしたら増えるかについては、「各種イベント等による出会いの場の提供」38.2%が高く、次いで「年齢、収入、学歴等、自分の希望する条件にある相手を検索できるデータマッチングシステムの導入」(23.0%)、「公的な結婚相談所によるお相手紹介」(20.8%)となっている。

性・年代別にみると、男性40代では「公的な結婚相談所によるお相手紹介」が31.4%と高い。

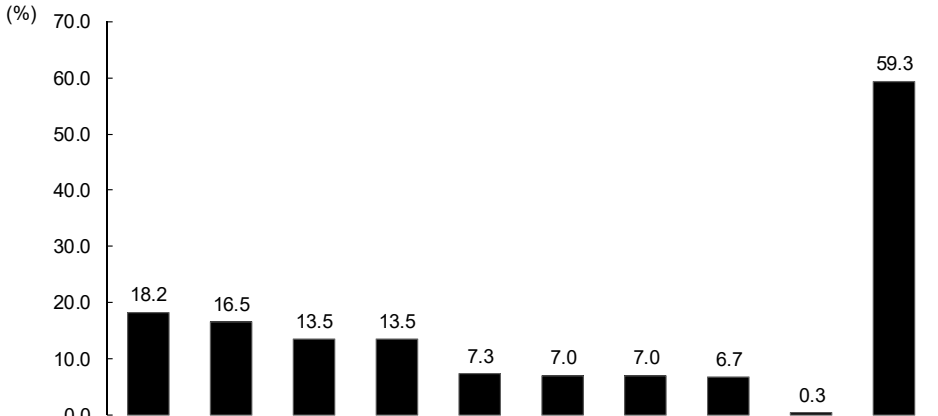


		n=	各種イベント等による出会いの場の提供	年齢、収入、学歴等、自分の希望する条件にある相手を検索できるデータマッチングシステムの導入	公的な結婚相談所によるお相手紹介	安定した雇用機会の提供	企業間・異業種交流事業の実施	民間の結婚相談所やインターネットサイト登録料・会費の補助	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	若者の結婚を応援するようなPR活動の実施	結婚に関する悩み相談	長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進	交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催	その他	わからない	特にない
TOTAL		178	38.2	23.0	20.8	17.4	15.2	13.5	11.8	11.2	10.7	6.7	2.2	0.6	20.2	6.7
* 性年代	■男性 計	104	38.5	20.2	25.0	16.3	19.2	15.4	9.6	11.5	9.6	7.7	1.0	1.0	19.2	6.7
	10・20代	17	52.9	23.5	5.9	5.9	17.6	5.9	11.8	41.2	5.9	0.0	0.0	5.9	17.6	0.0
	30代	36	50.0	22.2	25.0	19.4	25.0	16.7	5.6	11.1	2.8	11.1	0.0	0.0	19.4	2.8
	40代	51	25.5	17.6	31.4	17.6	15.7	17.6	11.8	2.0	15.7	7.8	2.0	0.0	19.6	11.8
	■女性 計	74	37.8	27.0	14.9	18.9	9.5	10.8	14.9	10.8	12.2	5.4	4.1	0.0	21.6	6.8
	10・20代	15	46.7	40.0	6.7	6.7	0.0	0.0	20.0	26.7	0.0	13.3	13.3	0.0	26.7	0.0
	30代	34	38.2	20.6	23.5	17.6	11.8	11.8	8.8	8.8	8.8	5.9	0.0	0.0	20.6	11.8
	40代	25	32.0	28.0	8.0	28.0	12.0	16.0	20.0	4.0	24.0	0.0	4.0	0.0	20.0	4.0

問14 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。  
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚意向がある者(結婚予定がある者を除く)】

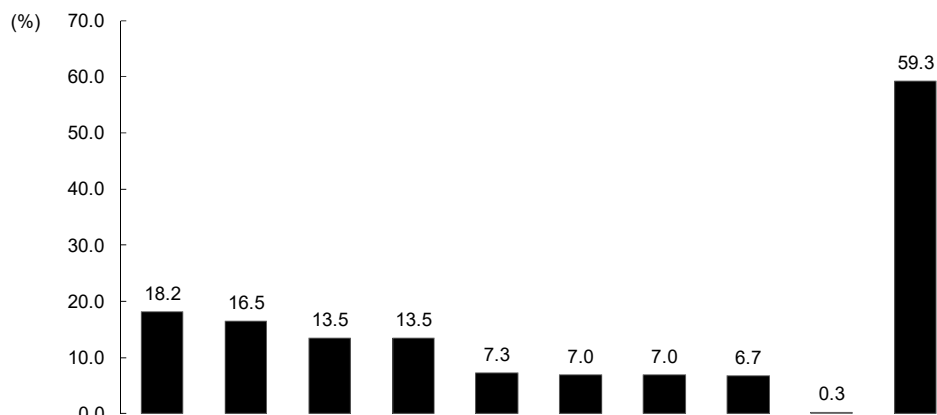
「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「婚活パーティーに参加する」(18.2%)の割合が最も高く、次いで「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(16.5%)となっている。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は6割(59.3%)を占める。

性・年代別にみると、男性30代では「婚活パーティーに参加する」(26.5%)が高く、男女ともに30代では「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(男性：24.5%、女性：24.2%)の割合が高い。



n=		婚活パーティーに参加する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	インターネット・SNSを活用する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	民間の結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL	599	18.2	16.5	13.5	13.5	7.3	7.0	7.0	6.7	0.3	59.3
■男性 計	327	16.5	14.4	14.4	14.1	9.8	8.3	9.8	8.0	0.6	58.1
10・20代	81	6.2	8.6	8.6	8.6	3.7	9.9	2.5	2.5	0.0	76.5
30代	98	26.5	24.5	22.4	19.4	16.3	8.2	14.3	16.3	0.0	44.9
40代	148	15.5	10.8	12.2	13.5	8.8	7.4	10.8	5.4	1.4	56.8
■女性 計	272	20.2	19.1	12.5	12.9	4.4	5.5	3.7	5.1	0.0	60.7
10・20代	118	16.9	15.3	9.3	17.8	2.5	5.1	0.8	0.8	0.0	66.1
30代	95	25.3	24.2	18.9	7.4	6.3	4.2	3.2	7.4	0.0	53.7
40代	59	18.6	18.6	8.5	11.9	5.1	8.5	10.2	10.2	0.0	61.0

性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい」または「2・3年以内に結婚したい」と回答した男性では、他の性・結婚意向と比べ、「趣味のサークルに入る」を除くすべての項目で割合が高くなっており、「婚活」に意欲的であることがうかがえる。

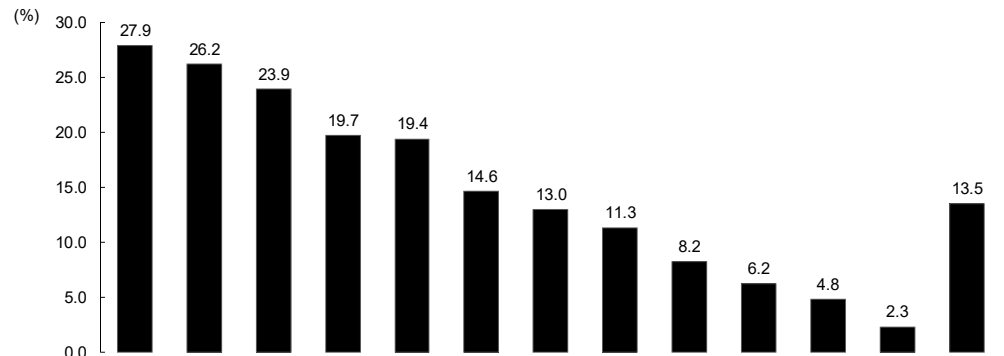


		n=	婚活パーティーに参加する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	インターネット・SNSを活用する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	民間の結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		599	18.2	16.5	13.5	13.5	7.3	7.0	7.0	6.7	0.3	59.3
* 性別×結婚意向	■ 男性 計	327	16.5	14.4	14.4	14.1	9.8	8.3	9.8	8.0	0.6	58.1
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	100	27.0	25.0	23.0	22.0	13.0	7.0	14.0	16.0	1.0	37.0
	いずれは結婚したい	227	11.9	9.7	10.6	10.6	8.4	8.8	7.9	4.4	0.4	67.4
	■ 女性 計	272	20.2	19.1	12.5	12.9	4.4	5.5	3.7	5.1	0.0	60.7
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	90	25.6	23.3	13.3	17.8	2.2	4.4	7.8	10.0	0.0	48.9
	いずれは結婚したい	182	17.6	17.0	12.1	10.4	5.5	6.0	1.6	2.7	0.0	66.5

問15 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)  
 【回答者：問14で婚活は特に行っていないと回答した者】

婚活を特に行っていない・行う予定はない理由としては、「自然な流れで出会いたいから」が27.9%、「面倒だから」が26.2%、「そこまでする必要性を感じないから」が23.9%と高い。

性・年代別にみると、「自然な流れで出会いたいから」、「面倒だから」、「交際相手がいるから」は男性よりも女性で高い。

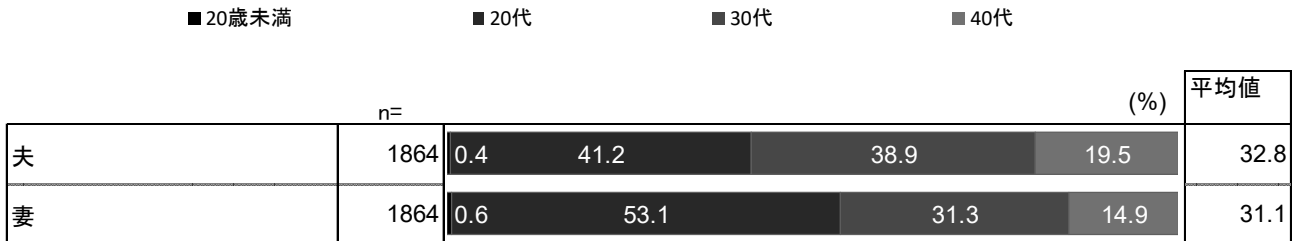


n=		自然な流れで出会いたいから	面倒だから	そこまでする必要性を感じないから	交際相手がいるから	何をすればよいかわからないから	忙しくて時間が足りないから	婚活サービスは参加料が高いから	婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから	婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから	婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つからないから	婚活サービスは日程が合わないから	その他	答えたくない
TOTAL	355	27.9	26.2	23.9	19.7	19.4	14.6	13.0	11.3	8.2	6.2	4.8	2.3	13.5
* 男性 計	190	20.5	20.0	24.7	12.1	17.9	12.6	13.2	8.4	6.8	5.8	4.7	2.1	18.4
10・20代	62	12.9	11.3	29.0	16.1	19.4	8.1	8.1	4.8	4.8	0.0	1.6	3.2	19.4
30代	44	31.8	22.7	20.5	9.1	22.7	18.2	18.2	9.1	6.8	9.1	4.5	0.0	20.5
40代	84	20.2	25.0	23.8	10.7	14.3	13.1	14.3	10.7	8.3	8.3	7.1	2.4	16.7
* 女性 計	165	36.4	33.3	23.0	28.5	21.2	17.0	12.7	14.5	9.7	6.7	4.8	2.4	7.9
10・20代	78	34.6	26.9	24.4	21.8	11.5	15.4	3.8	6.4	3.8	1.3	3.8	3.8	15.4
30代	51	37.3	37.3	21.6	41.2	33.3	17.6	21.6	23.5	15.7	13.7	7.8	0.0	2.0
40代	36	38.9	41.7	22.2	25.0	25.0	19.4	19.4	19.4	13.9	8.3	2.8	2.8	0.0

(3) 既婚者の結婚生活の状況

問16 結婚したときのご夫婦の年齢をお答えください。【回答者：既婚者】

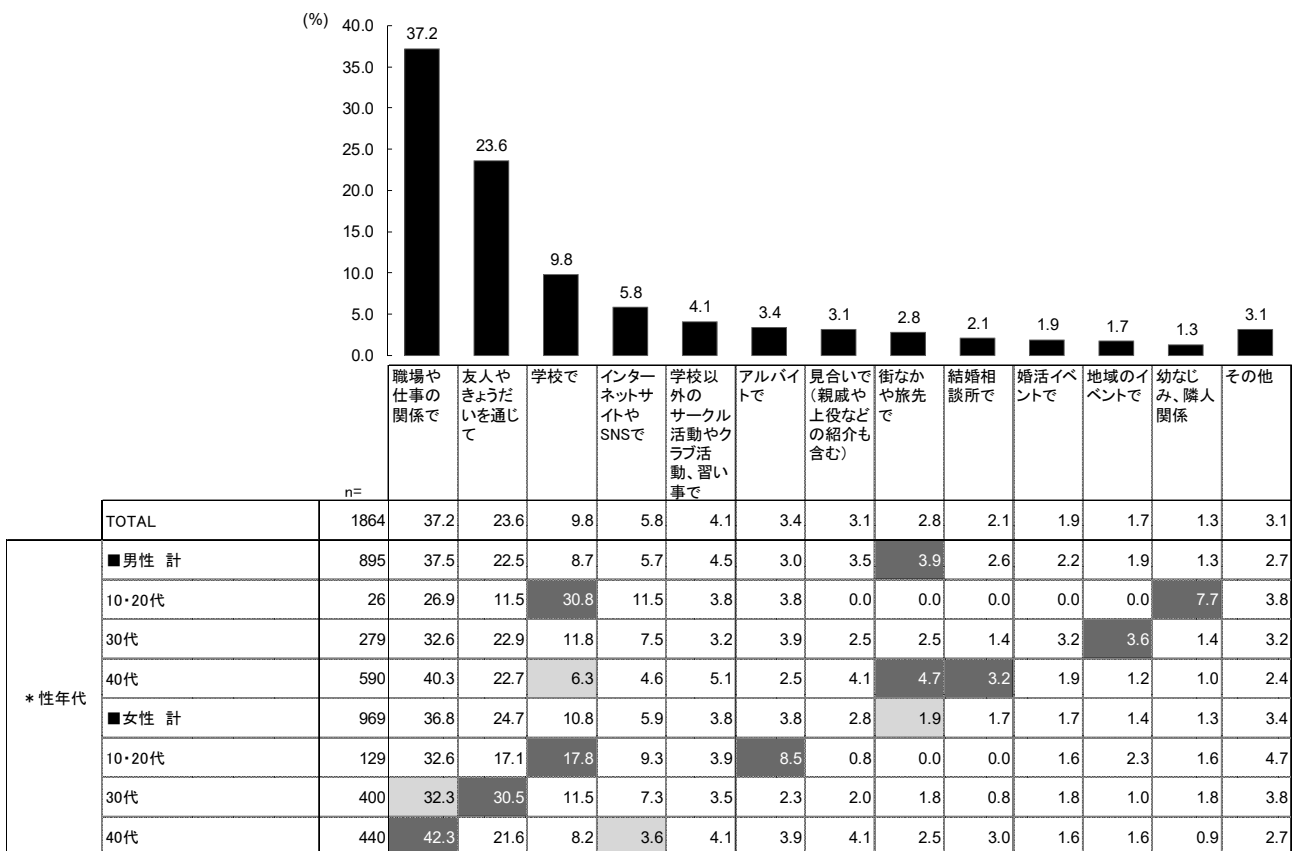
結婚したときの夫の平均年齢は 32.8 歳、妻の平均年齢は 31.1 歳である。全国を対象に実施した「平成 29 年人口動態調査」（厚生労働省）の平均婚姻年齢（全婚姻）夫 33.4 歳、妻 31.1 歳とほぼ同じである。



問17 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」（37.2%）が最も高く、以下、「友人やきょうだいを通じて」（23.6%）、「学校で」（9.8%）と続く。

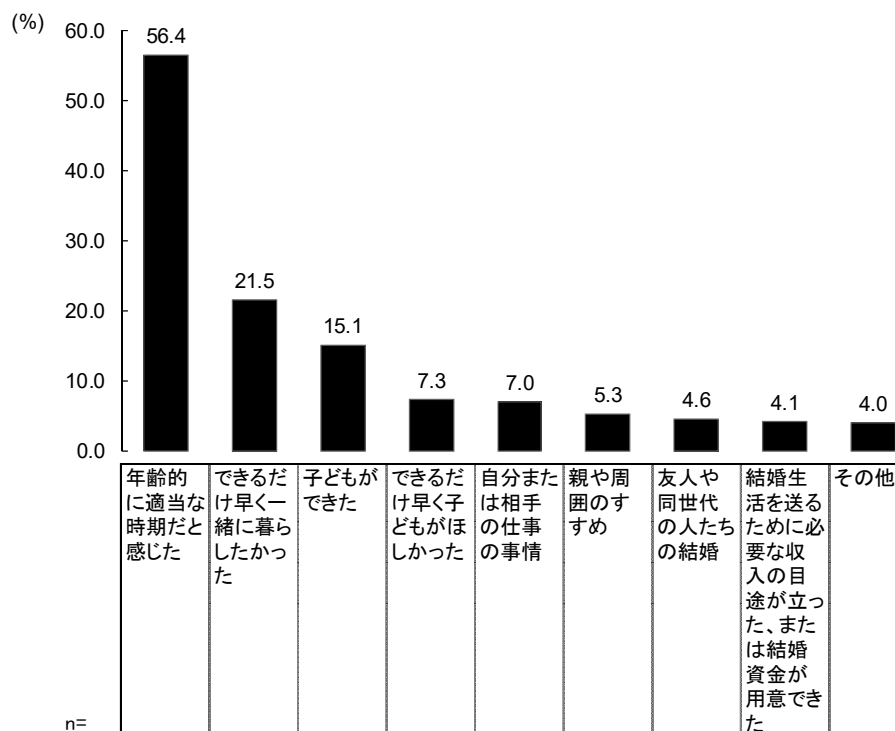
性・年代別にみると、女性 10・20 代では「学校で」（17.8%）がきっかけである割合が他の性・年代と比べて高い。



問18 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。(回答は2つまで)  
【回答者：既婚者】

最終的に結婚を決めた直接のきっかけは、「年齢的に適当な時期だと感じた」が56.4%と最も高く、以下、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」(21.5%)、「子どもができた」(15.1%)と続く。

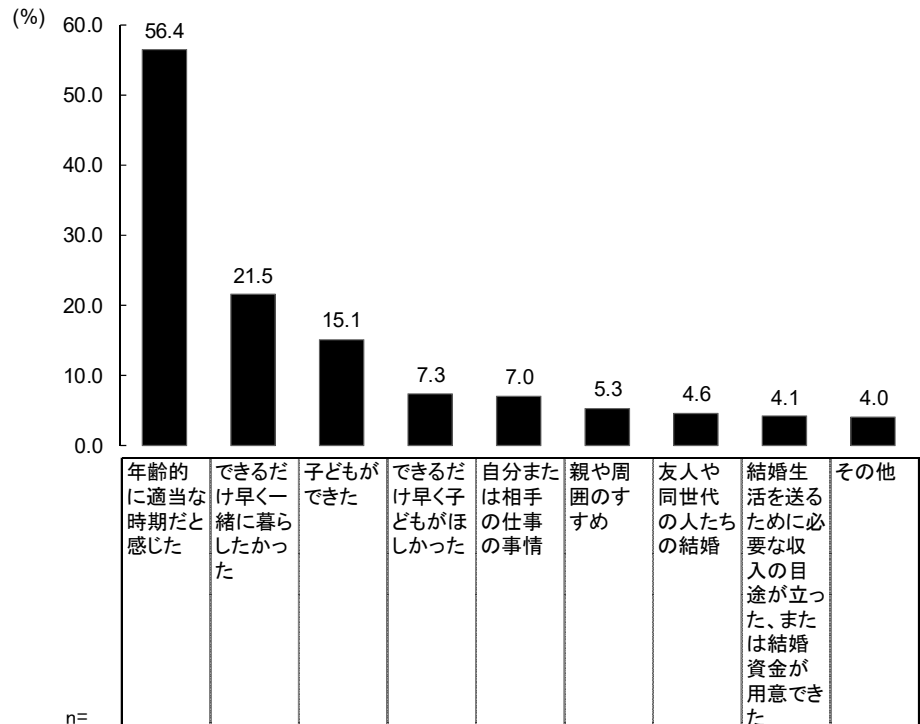
性・年代別にみると、男性の30代および40代では「年齢的に適当な時期だと感じた」(30代:63.1%、40代:61.5%)と回答する割合が高い。女性10・20代では年齢を理由とする割合は低い一方、「子どもができた」(29.5%)ことをきっかけとして挙げる割合が高い。



		n=	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	子どもができた	できるだけ早く子どもがほしかった	自分または相手の仕事の事情	親や周囲のすすめ	友人や同世代の人たちの結婚	結婚生活を送るために必要な収入の目途が立った、または結婚資金が用意できた	その他
	TOTAL	1864	56.4	21.5	15.1	7.3	7.0	5.3	4.6	4.1	4.0
* 性年代	■男性 計	895	61.7	21.3	10.5	6.4	6.6	5.9	4.4	5.0	1.9
	10・20代	26	50.0	34.6	11.5	3.8	11.5	11.5	7.7	3.8	0.0
	30代	279	63.1	22.6	10.0	6.8	6.8	3.2	3.2	7.9	2.9
	40代	590	61.5	20.2	10.7	6.3	6.3	6.9	4.7	3.7	1.5
	■女性 計	969	51.6	21.7	19.3	8.3	7.4	4.6	4.7	3.3	5.9
	10・20代	129	38.8	26.4	29.5	9.3	7.8	4.7	3.1	5.4	7.8
	30代	400	51.0	23.8	21.3	10.8	7.5	3.3	5.8	2.5	6.0
	40代	440	55.9	18.4	14.5	5.7	7.3	5.9	4.3	3.4	5.2

結婚時の本人の年齢別にみると、いずれの年代でも「年齢的に適当な時期だと感じた」ことが直接的きっかけとなっており、特に30代（65.7%）で高い割合である。

一方、10・20代では「子どもができた」（18.5%）の割合が高い。



		n=	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	子どもができた	できるだけ早く子どもがほしかった	自分または相手の仕事の事情	親や周囲のすすめ	友人や同世代の人たちの結婚	結婚生活を送るために必要な収入の目途が立った、または結婚資金が用意できた	その他
TOTAL		1864	56.4	21.5	15.1	7.3	7.0	5.3	4.6	4.1	4.0
* 結婚時の年齢	10代・20代	908	52.5	22.4	18.5	6.6	7.3	4.5	5.1	4.5	4.4
	30代	644	65.7	20.8	11.0	9.0	6.5	5.3	3.6	4.0	3.7
	40代	312	48.7	20.5	13.5	6.1	7.4	7.4	5.1	3.2	3.2



(4) 働き方に関する現状

問19 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方(事実婚を含む)は、配偶者(パートナー)についてもお答えください。(回答は1つ)

回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代、40代では「正規の社員・職員」が8割前後(30代:80.5%、40代:75.4%)を占めるが、10・20代では53.1%とやや低い割合である。

一方、女性の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」は3割前後(10代:33.2%、30代:30.4%、40代:26.7%)である。

配偶者の就労状況は、男性回答者の配偶者の場合「パート・アルバイト」または「無職・家事」の割合が高く、女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割以上(10・20代:89.1%、30代:87.3%、40代:81.1%)を占める。

① あなた自身の状況

■ 正規の社員・職員 ■ パート・アルバイト ■ 派遣・嘱託・契約社員 ■ 自営業主・家族従業員 ■ 無職・家事 ■ 学生 ■ その他

		n=	(% )						
	TOTAL	3011	52.1	18.6	5.9	6.0	13.8	2.3	1.3
* 性年代	■ 男性 計	1505	74.8		5.2	4.7	8.0	2.1	
	10・20代	143	53.1	9.1	6.3	3.5	7.7	20.3	
	30代	446	80.5		7.4	3.1	4.5	0.2	
	40代	916	75.4		3.6	5.2	10.4	0.1	
	■ 女性 計	1506	29.4	32.0	7.0	4.1	23.5	2.5	1.5
	10・20代	304	33.2	22.4	6.3	1.0	24.3	11.8	1.0
	30代	573	30.4	31.8	5.6	4.2	26.4	0.2	1.6
	40代	629	26.7	36.9	8.7	5.4	20.5	0.2	1.6

② 配偶者の状況(既婚者のみ)

■ 正規の社員・職員 ■ パート・アルバイト ■ 派遣・嘱託・契約社員 ■ 自営業主・家族従業員 ■ 無職・家事 ■ 学生 ■ その他

		n=	(% )						
	TOTAL	1864	59.6	18.2	3.6	7.2	10.8	0.3	0.3
* 性年代	■ 男性 計	895	32.4	35.9	5.3	4.7	21.2	0.3	0.2
	10・20代	26	50.0	19.2			26.9	3.8	
	30代	279	29.7	29.4	5.0	4.3	30.8	0.7	
	40代	590	32.9	39.7	5.6	5.1	16.4	0.2	0.2
	■ 女性 計	969	84.7		1.9	9.6	0.2		
	10・20代	129	89.1		0.8	7.0	0.8		
	30代	400	87.3		2.5	7.0	0.3		
	40代	440	81.1		1.6	12.7	0.5		

性・婚姻状況別にみると、「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した男性は「正規の社員・職員」（88.6%）の割合が高く、「結婚したことはない」と回答した男性は、「パート・アルバイト」（12.0%）、「派遣・嘱託・契約社員」（8.0%）等と、正規の社員・職員以外の割合が高い。

「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した女性は、「パート・アルバイト」（35.5%）や「無職・家事」（31.3%）の割合が高い。「結婚したことはない」と回答した女性は「正規の社員・職員」（43.5%）の割合が高く、「パート・アルバイト」（22.3%）の割合が低い。

### ① 男性・婚姻状況別

■正規の社員・職員 ■パート・アルバイト ■派遣・嘱託・契約社員 ■自営業主・家族従業員 ■無職・家事 ■学生 ■その他

		n=	(%)						
	TOTAL	1505	74.8	5.2	4.7	8.0	2.1	4.1	1.1
Q4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)	現在、結婚(事実婚を含む)している	895	88.6	1.0	6.6	2.3	1.1	0.3	
	結婚していたが、現在は離・死別した	86	62.8	8.1	9.3	14.0	5.8		
	結婚したことはない	524	53.2	12.0	8.0	9.4	9.0	5.9	2.5

### ② 女性・婚姻状況別

■正規の社員・職員 ■パート・アルバイト ■派遣・嘱託・契約社員 ■自営業主・家族従業員 ■無職・家事 ■学生 ■その他

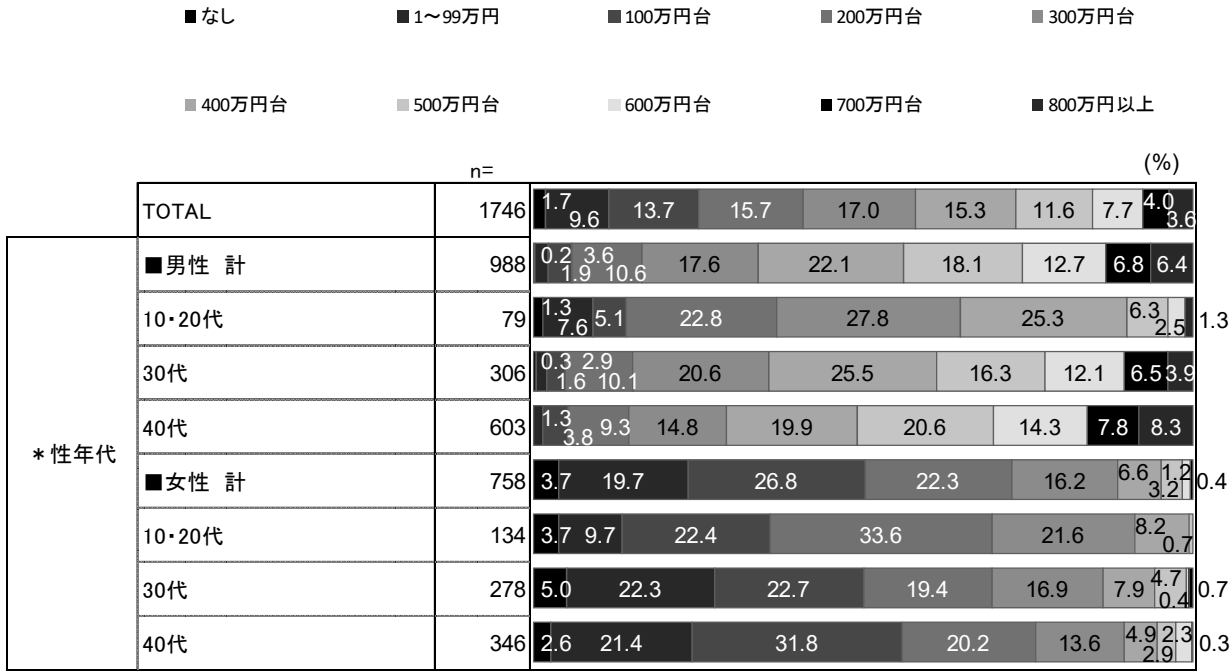
		n=	(%)						
	TOTAL	1506	29.4	32.0	7.0	4.1	23.5	2.5	1.5
Q4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)	現在、結婚(事実婚を含む)している	969	21.9	35.5	5.6	3.9	31.3	0.2	1.7
	結婚していたが、現在は離・死別した	116	41.4	37.9	9.5	4.3	5.2	1.7	
	結婚したことはない	421	43.5	22.3	9.7	4.3	10.7	8.6	1.0

問20 差し支えなければ、あなたの昨年の収入（年収）をお答えください。結婚されている方は、配偶者（パートナー）の収入（年収）もお答えください。（回答は1つ） 【回答者：有職者】

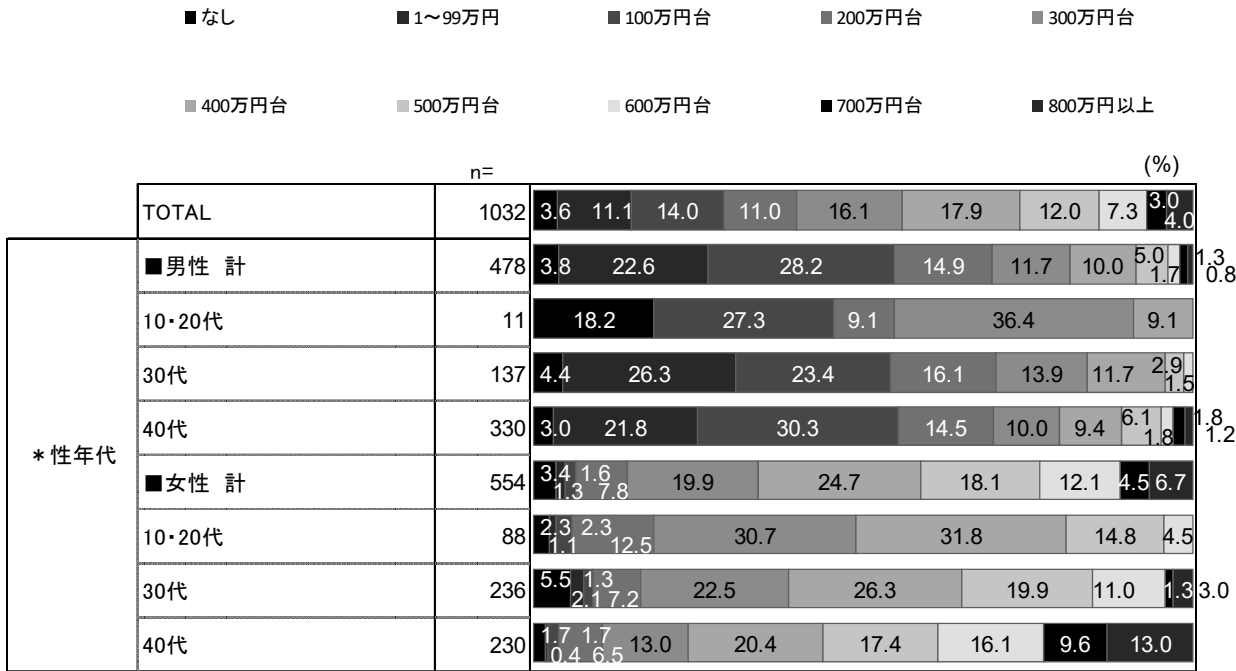
回答者自身の年収は、「100万円台」（13.7%）、「200万円台」（15.7%）、「300万円台」（17.0%）、「400万円台」（15.3%）、「500万円台」（11.6%）がそれぞれ1割台である。男性の方が年収が高く、女性は200万円台以下が7割程度を占めている。

配偶者の年収は、「1～99万円」（11.1%）、「100万円台」（14.0%）、「200万円台」（11.0%）、「300万円台」（16.1%）、「400万円台」（17.9%）、「500万円台」（12.0%）がそれぞれ1割台である。

① あなた自身の状況（「覚えていない・答えたくない」を除く）



② 配偶者の状況（既婚者のみ。「覚えていない・答えたくない」を除く）



夫婦の働き方別に合計年収（概算）をみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では「800万円台以上」の世帯が45.7%を占めている。一方、非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭では年収は低い傾向にあり、「200万円台以下」の世帯が52.9%となっている。

<既婚者の場合>

■ 200万円台以下    ■ 300万円台    ■ 400万円台    ■ 500万円台  
 ■ 600万円台    ■ 700万円台    ■ 800万円台以上    ■ 合計不明

		n=	(%)							
	TOTAL	1326	6.7	8.9	14.1	14.9	14.7	9.4	20.0	11.2
* 夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	315	0.6	3.8	11.1	12.4	13.3	45.7		11.4
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	513	2.1	7.8	15.8	17.9	17.9	9.7	10.9	17.7
	共働き家庭(その他)	142	8.5	16.9	12.7	7.7	14.1	6.3	18.3	15.5
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	303	12.9	13.2	23.1	18.2	13.5	7.6	11.6	
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	34	52.9			20.6	11.8	5.9	8.8	
	その他	19	36.8		10.5	10.5	15.8	15.8	5.3	5.3

※夫婦の合計年収は問20の「あなたご自身の年収」と「あなたの配偶者の年収」を合計して、概算として算出している。本調査においては「～万円台」という選択肢で聴取しているため、実際の合計年収とは異なる。

算出例) あなたご自身の年収：300万円台、あなたの配偶者の年収：200万円台 = 合計年収500万円台とする。実際には600万円台の可能性もある。

また、いずれかの年収が「覚えていない・答えたくない」と回答されていた場合は「合計不明」としている。

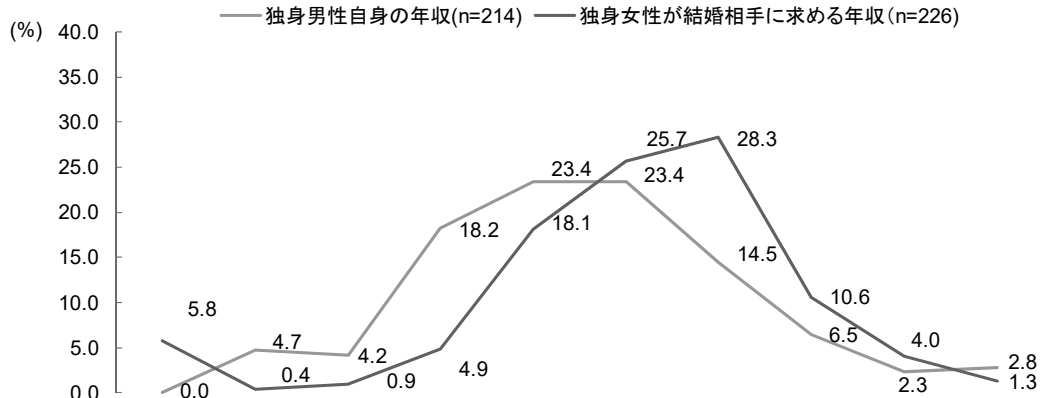
結婚相手に求める年収（問9）と比較した結果は以下のとおりである。

独身男性の場合、自身の年収は「300万円台」と「400万円台」がいずれも23.4%と最も高くなっている。一方、独身女性が結婚相手に求める年収は、「500万円台」が28.3%と最も高く、次いで「400万円台」が25.7%となっており、独身男性自身の年収よりも独身女性が結婚相手に求める年収の方が高い傾向がみられる。

独身女性の場合、自身の年収は「200万円台」が33.7%と最も高く、次いで「300万円台」が27.1%となっている。一方、独身男性が結婚相手に求める年収は「収入は関係ない」が34.7%と最も高く、次いで「300万円台」が29.0%となっている。

＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

① 男性

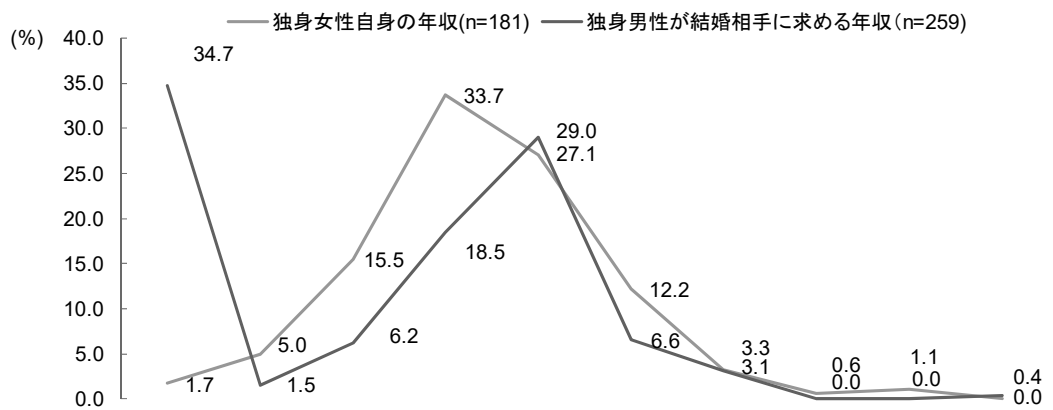


	n=	なし/収入は関係ない	1~99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円以上
問20 独身男性自身の年収	214	0.0	4.7	4.2	18.2	23.4	23.4	14.5	6.5	2.3	2.8
問9 独身女性が結婚相手に求める年収	226	5.8	0.4	0.9	4.9	18.1	25.7	28.3	10.6	4.0	1.3

※問20は「覚えていない・答えたくない」を除く。

※問9は「わからない」を除く。

② 女性



	n=	なし/収入は関係ない	1~99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円以上
問20 独身女性自身の年収	181	1.7	5.0	15.5	33.7	27.1	12.2	3.3	0.6	1.1	0.0
問9 独身男性が結婚相手に求める年収	259	34.7	1.5	6.2	18.5	29.0	6.6	3.1	0.0	0.0	0.4

※問20は「覚えていない・答えたくない」を除く。

※問9は「わからない」を除く。

問21 女性：育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方はどれですか。  
 男性：育児と仕事との関係で、あなたが理想とする配偶者・パートナーの生き方は次のどれですか。（配偶者・パートナーがいない方は、いると仮定してお答えください。）（回答は1つ）

育児と仕事との関係で、女性の理想の生き方としては「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」が44.3%と最も高く、次いで「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」（15.2%）、「出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける」（11.8%）となっている。

性・婚姻状況別にみると、男女ともに現在、結婚（事実婚を含む）している人では「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」が半数を占める。結婚したことはない人の場合、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」や「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」の割合は低く、「結婚も出産もせず、働き続ける」、「結婚はするが、出産しないで働き続ける」、あるいは「わからない」という回答割合が高い傾向にある。

- 結婚も出産もせず、働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける
- 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
- 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
- わからない
- 結婚はするが、出産しないで働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく
- 出産退職後は、育児に専念する
- その他

		n=	(% )					
TOTAL		3011	1.4 4.1	11.8	44.3	15.2	3.0 0.4 2.2	17.6
* 性別×婚姻状況	■ 男性 計	1505	4.7	13.8	44.3	11.8	1.9 0.5 1.4	21.7
	現在、結婚(事実婚を含む)している	895	3.8	16.5	51.6	15.9	1.9 0.6 1.5	8.3
	結婚していたが、現在は離・死別した	86	10.5	7.0	30.2	5.8	3.5 2.3	40.7
	結婚したことはない	524	5.2	10.3	34.0	5.9	1.7 0.4 1.1	41.4
	■ 女性 計	1506	2.9 3.5	9.8	44.4	18.6	4.1 0.4 2.9	13.5
	現在、結婚(事実婚を含む)している	969	0.4 2.0	9.5	51.3	22.7	4.7 0.2 2.9	6.3
	結婚していたが、現在は離・死別した	116	6.0 2.6	12.9	36.2	12.1	1.7 5.2	23.3
	結婚したことはない	421	7.6	7.1	9.5	30.9	10.9 3.3 2.4	1.0 27.3

また、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」（47.2%）が半数を占め、次いで「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」（19.4%）となっている。

<女性 18-34 歳の場合>（希望出生率の算出根拠）

- 結婚も出産もせず、働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける
- 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
- 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
- わからない
- 結婚はするが、出産しないで働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく
- 出産退職後は、育児に専念する
- その他

		n=	(% )				
女性18-34歳	562	3.2 3.4	8.9	47.2	19.4	4.6 2.1	11.2

既婚者の場合、「出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく」の割合が51.4%と半数を占める。

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）の場合には「出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける」との考えが25.9%と他に比べて高い。また、正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭では「出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く」との考えが29.4%と3割を占めている。

＜既婚者の場合＞

- 結婚も出産もせず、働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける
- 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
- 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
- わからない
- 結婚はするが、出産しないで働き続ける
- 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく
- 出産退職後は、育児に専念する
- その他

		n=	(%)					
	TOTAL	1864	0.2 2.8	12.9	51.4	19.4	3.4 2.2	0.4 7.2
* 夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	440	0.2 4.3	25.9	51.4	9.8	2.0 0.7	0.5 5.2
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	692	2.3	10.7	56.9	21.0	1.9 0.9	6.4
	共働き家庭(その他)	195	1.5 4.6	13.8	52.8	11.3	2.1 3.1	1.0 9.7
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	445	1.6 4.0	44.0	29.4	7.4	5.4 0.4	7.6
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	58	3.4 3.4	43.1	25.9	3.4 3.4		17.2
	その他	34	14.7	44.1	17.6	5.9 2.9		14.7

(5) 出産や子育てに関する意識と現状

問22 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

<既婚者の場合>

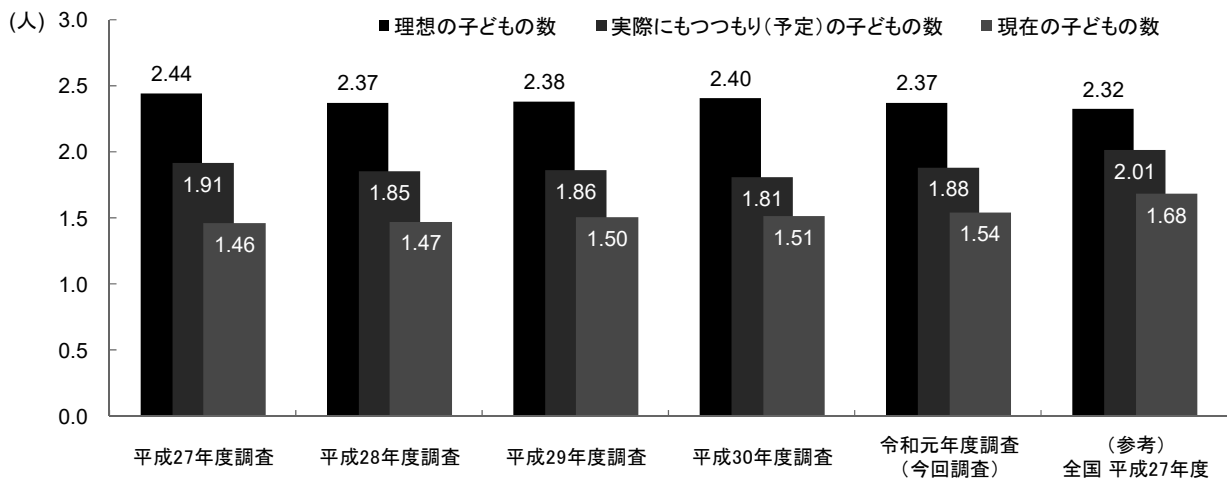
現在の子どもの数は、1人が25.9%、2人が37.3%、3人が14.4%、平均すると1.54人である。0人の割合は2割(19.9%)となっている。

理想の子どもの数は、1人が44.8%、2人が38.1%、平均すると2.37人である。

実際に持つつもり(予定)の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が17.4%、2人が48.2%、3人が19.9%、平均すると1.88人である。

	n=	■0人 ■1人 ■2人 ■3人 ■4人 ■5人以上					平均値
		n=					
現在の子どもの数	1864	19.9	25.9	37.3	14.4	2.2 0.3	1.54
理想の子どもの数	1864	5.9 4.9	44.8	38.1	4.0 2.3		2.37
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1864	11.2	17.4	48.2	19.9	2.7 0.6	1.88

なお、平成27～令和元年度調査(今回調査)までの経年変化は以下のとおりである。平成27年度調査から概ね同程度で推移している。



※全国値は「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」(国立社会保障・人口問題研究所)より出典



既婚者の性・年代別にみた現在の子ども数、理想の子ども数、実際に持つつもり（予定）の子ども数は、以下のとおりである。

① - 1 性・年代別

		n=					平均値	
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
現在の子ども数	■男性 計	895	19.0	25.0	39.4	14.3	2.0	1.56
	10・20代	26	42.3	38.5	15.4	3.8	0.2	0.81
	30代	279	21.9	29.0	33.7	13.3	2.2	1.45
	40代	590	16.6	22.5	43.2	15.3	2.0	1.65
	■女性 計	969	20.7	26.7	35.4	14.4	2.4	1.52
	10・20代	129	30.2	45.0	19.4	4.7	0.8	1.01
	30代	400	15.8	28.5	37.3	15.0	3.0	1.63
	40代	440	22.5	19.8	38.4	16.8	2.3	1.58
理想の子ども数	■男性 計	895	5.9	47.5	36.1	3.0	2.6	2.33
	10・20代	26	3.8	50.0	38.5	3.8	0.7	2.35
	30代	279	5.7	49.1	35.1	4.3	0.7	2.29
	40代	590	6.1	46.6	36.4	2.4	3.6	2.35
	■女性 計	969	5.9	42.3	40.0	5.0	2.0	2.40
	10・20代	129	1.6	45.0	43.4	3.9	0.8	2.46
	30代	400	2.3	38.5	47.3	5.5	3.0	2.61
	40代	440	10.5	5.9	45.0	32.5	4.8	2.20
実際に持つつもり(予定)の子ども数	■男性 計	895	10.6	19.4	48.5	18.3	2.5	1.85
	10・20代	26	11.5	15.4	53.8	15.4	3.8	1.85
	30代	279	9.7	17.2	49.5	20.8	2.9	1.90
	40代	590	11.0	20.7	47.8	17.3	2.2	1.83
	■女性 計	969	11.7	15.5	48.0	21.4	2.9	1.91
	10・20代	129	5.4	16.3	55.0	22.5	0.8	1.97
	30代	400	4.8	12.0	53.3	25.8	3.5	2.14
	40代	440	19.8	18.4	41.1	17.0	3.0	1.67

既婚者の夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では、現在の子どもの数が2人以上の割合が6割強を占めている。

① - 2 夫婦の働き方別

		n=	■0人 ■1人 ■2人 ■3人 ■4人 ■5人以上				(%)	平均値
現在の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	440	24.1	27.3	33.2	13.0	2.3 0.2	1.43
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	692	16.9	20.1	43.9	16.5	2.3 0.3	1.68
	共働き家庭(その他)	195	25.6	19.0	33.8	19.5	2.1	1.53
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	445	16.4	35.3	34.8	11.0	2.2 0.2	1.48
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	58	31.0	36.2	19.0	10.3	1.7 1.7	1.22
	その他	34	20.6	26.5	41.2	11.8		1.44
	理想の子どもの数	440	5.5 4.1	43.0	42.3	3.4 1.8		2.40
共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	692	4.0 4.2	48.6	37.3	3.9 2.0		2.39	
共働き家庭(その他)	195	10.3 3.1	40.0	37.4	5.1 4.1		2.37	
正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	445	6.7 6.5	44.5	35.7	4.7 1.8		2.31	
非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	58	8.6 10.3	43.1	34.5	3.4		2.21	
その他	34	8.8 8.8	26.5	44.1	5.9 5.9		2.47	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	440	11.4	16.4	48.0	21.4	2.5 0.5	1.90
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	692	9.5	16.5	50.9	19.7	2.9 0.6	1.92
	共働き家庭(その他)	195	16.9	14.4	45.1	20.0	3.1 0.5	1.79
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	445	9.2	20.4	48.1	18.7	2.7 0.9	1.88
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	58	20.7	22.4	36.2	17.2	1.7 1.7	1.64
	その他	34	17.6	17.6	38.2	26.5		1.74

＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

性・年代別にみると、独身者の理想の子どもの数は2人と回答する割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は0人と回答する割合が既婚者に比べ顕著に高い。

性・雇用形態別にみると、パート・アルバイトでは、理想の子どもの数は平均 1.68 人なのに対し、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は平均 0.83 人と少なくなっている。

② - 1 性・年代別

		<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></span> 0人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 1人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 2人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 3人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 4人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 5人以上						n=	(%)	平均値
理想の子どもの数	■男性 計	16.3 8.3 53.6 20.4				1.2	0.3	338		1.83
	10・20代	19.0 1.2 59.5 20.2						84		1.81
	30代	13.9 6.9 55.4 21.8				2.0		101		1.91
	40代	16.3 13.1 49.0 19.6				1.3	0.7	153		1.78
	■女性 計	17.1 7.0 50.2 23.4				1.3	1.0	299		1.88
	10・20代	12.3 4.6 53.1 27.7				0.8	1.5	130		2.05
	30代	10.4 9.4 52.8 23.6				2.8	0.9	106		2.03
40代	38.1 7.9 39.7 14.3						63		1.30	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	■男性 計	39.9 13.3 36.4 9.8				0.6		338		1.18
	10・20代	42.9 6.0 38.1 13.1						84		1.21
	30代	42.6 10.9 36.6 8.9				1.0		101		1.15
	40代	36.6 19.0 35.3 8.5				0.7		153		1.18
	■女性 計	45.8 16.4 28.1 8.7				0.7	0.3	299		1.03
	10・20代	47.7 6.2 35.4 10.0				0.8		130		1.10
	30代	34.9 20.8 32.1 10.4				0.9		106		1.25
40代	60.3 30.2 6.3				3.2		63		0.52	

② - 2 雇用形態別

		<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></span> 0人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 1人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 2人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 3人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 4人 <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: gray; margin-right: 5px; margin-left: 20px;"></span> 5人以上						n=	(%)	平均値
理想の子どもの数	正規の社員・職員	15.9 6.9 53.3 22.8				0.6	0.6	347		1.87
	パート・アルバイト	23.4 5.6 53.3 15.0				2.8		107		1.68
	派遣・嘱託・契約社員	23.5 17.6 39.2 17.6				2.0		51		1.57
	自営業主・家族従業員	4.8 11.9 57.1 23.8				2.4		42		2.07
	無職・家事	22.2 11.1 47.2 16.7				2.8		36		1.69
	学生	6.1 2.0 51.0 36.7				2.0	2.0	49		2.33
	その他	20.0 60.0 20.0						5		1.80
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	正規の社員・職員	40.3 13.3 36.6 8.6				0.9	0.3	347		1.17
	パート・アルバイト	54.2 15.9 22.4 7.5						107		0.83
	派遣・嘱託・契約社員	45.1 15.7 33.3 5.9						51		1.00
	自営業主・家族従業員	23.8 31.0 35.7 9.5						42		1.31
	無職・家事	41.7 13.9 33.3 11.1						36		1.14
	学生	49.0 8.2 22.4 18.4				2.0		49		1.16
	その他	40.0 20.0 20.0 20.0						5		1.20

＜女性 18-34 歳の場合＞（希望出生率の算出根拠）

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 50.3%、3 人が 28.1%、平均 2.04 人であった。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、0 人が 44.3%、1 人が 11.9%、2 人が 31.4%、平均 1.14 人であった。

		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	平均値
女性18-34歳	理想の子どもの数	185	12.4	6.5	50.3	28.1	1.1	1.6		2.04
	実際に持つつもり(予定)の子どもの数	185	44.3	11.9	31.4	10.8	1.1	0.5		1.14

※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

＜子どもが 1 人以上いる者の場合＞

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった人は、理想の子どもの数を 3 人と回答する割合が高い。しかし、実際に持つつもり（予定）の子どもの数をみると、大きな差はなくなっている。

子どもが 3 歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、理想の子どもの数・実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに同居していた者の方がやや多いものの、大きな差はみられない。

③ - 1 親からの子育て支援別

		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	平均値
理想の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	891	4.8	43.7	45.1	3.5	2.9			2.57
	子育ての手助けがときどきあった	482	5.8	44.4	42.7	5.6	1.5			2.52
	子育ての手助けがほとんどなかった	266	5.3	47.7	34.6	7.9	4.5			2.60
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	891	18.9	53.1	24.7	2.4	1.0			2.14
	子育ての手助けがときどきあった	482	19.3	53.5	23.2	3.5	0.4			2.12
	子育ての手助けがほとんどなかった	266	21.1	52.3	19.9	6.0	0.8			2.14

※親からの子育て支援は、問 28 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親がいなかった場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③ - 2 親との同居有無別

		n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	平均値
理想の子どもの数	同居していた	409	6.6	42.5	45.7	2.9	2.2			2.52
	誰とも同居していなかった	1230	4.7	45.2	41.7	5.4	2.9			2.58
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	同居していた	409	23.0	49.9	24.2	2.4	0.5			2.08
	誰とも同居していなかった	1230	18.1	54.1	23.3	3.6	0.9			2.15

※親との同居の有無は、問 27 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」としている。

問23 問22で、「実際に持つつもり（予定）の子ども数」が、「理想の子ども数」より少ない方  
 うかがいます。

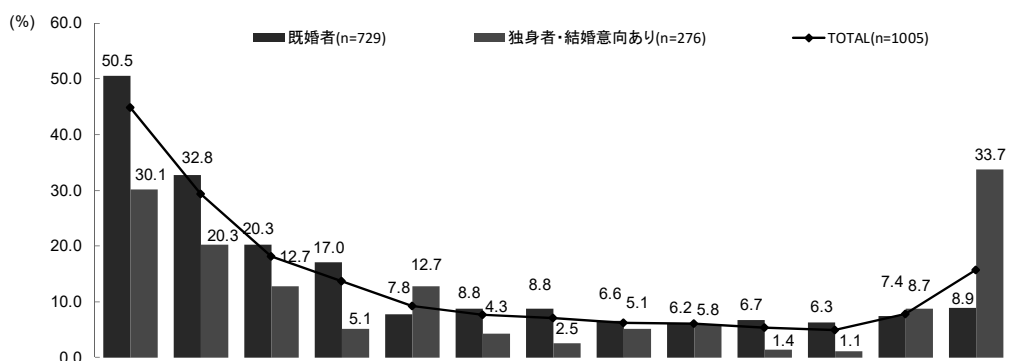
持つつもりの子どもの数が、理想の子ども数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理  
 由をお答えください。（回答はいくつでも）

実際に持つつもり（予定）の子ども数が理想の子ども数よりも少ない理由としては、「子育てや  
 教育にお金がかかりすぎるから」（44.9%）が最も高い。以下、「自分または配偶者（パートナー）の年  
 齢的理由から」（29.4%）、「健康面・体調面の理由から」（18.2%）と続く。

既婚者の理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（50.5%）、「自分または配偶者（パ  
 ートナー）の年齢的理由から」（32.8%）、「健康面・体調面の理由から」（20.3%）等の上位の理由は、  
 いずれも全体でみた場合よりも高い割合となっている。

独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者に比べ経済的・年齢的な理由を挙げる割合は低い。  
 一方、「特に理由はない」（33.7%）、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」（12.7%）はそれぞれ既  
 婚者に比べて高い割合となっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



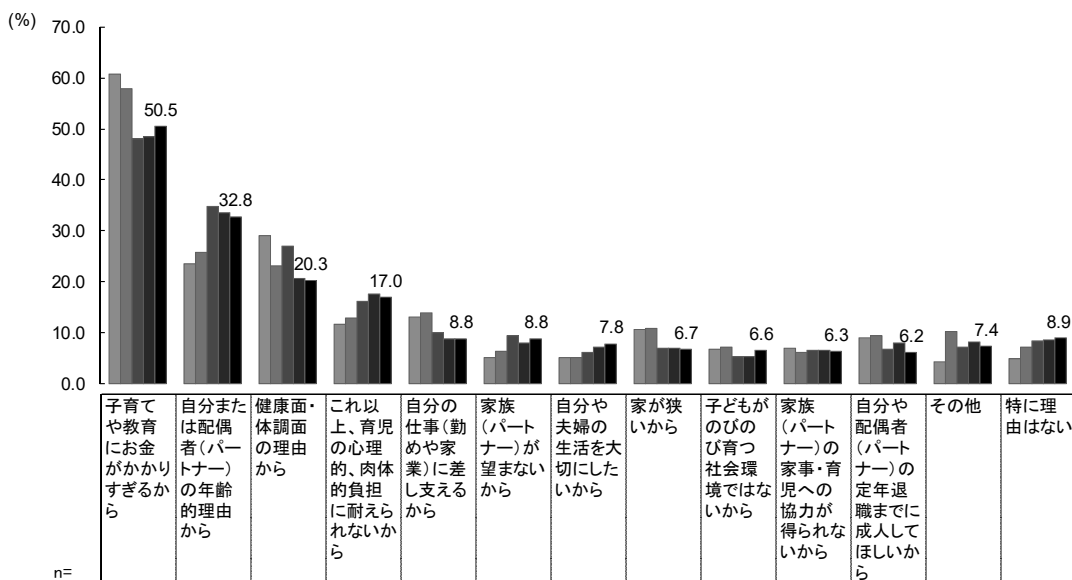
		n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	自分の仕事(勤め)や家業に差し支えるから	家族(パートナー)が望まないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職まで成人してほしいから	家が狭いから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	その他	特に理由はない
	TOTAL	1005	44.9	29.4	18.2	13.7	9.2	7.6	7.1	6.2	6.1	5.3	4.9	7.8	15.7
* 婚姻状況	既婚者	729	50.5	32.8	20.3	17.0	7.8	8.8	8.8	6.6	6.2	6.7	6.3	7.4	8.9
	独身者・結婚意向あり	276	30.1	20.3	12.7	5.1	12.7	4.3	2.5	5.1	5.8	1.4	1.1	8.7	33.7

※グラフはTOTALの順でソート

既婚者の回答について5年間の推移を比較すると、「健康面・体調面の理由から」、「自分の仕事（勤めや稼業）に差し支えるから」等は低下している。一方、「自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から」、「これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」という理由は上昇傾向がみられる。

### <既婚者の場合>

■ 平成27年度調査(n=792) ■ 平成28年度調査(n=780) ■ 平成29年度調査(n=746) ■ 平成30年度調査(n=828) ■ 令和元年度調査(今回調査)(n=729)



n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分の仕事(勤めや稼業)に差し支えるから	家族(パートナー)が望まないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家が狭いから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	その他	特に理由はない	
令和元年度調査(今回調査)	729	50.5	32.8	20.3	17.0	8.8	8.8	7.8	6.7	6.6	6.3	6.2	7.4	8.9
平成30年度調査	828	48.4	33.6	20.7	17.5	8.8	8.0	7.1	6.9	5.3	6.6	7.9	8.1	8.6
平成29年度調査	746	48.0	34.7	26.9	16.2	10.1	9.4	6.2	7.0	5.2	6.6	6.8	7.1	8.3
平成28年度調査	780	57.9	25.8	23.1	12.9	13.8	6.3	5.0	10.8	7.1	6.2	9.4	10.3	7.2
平成27年度調査	792	60.7	23.6	29.0	11.7	13.1	5.1	5.1	10.7	6.8	6.9	9.0	4.3	4.8

※グラフは今回調査の順にソート

### ※今回調査と前回調査の選択肢変更箇所

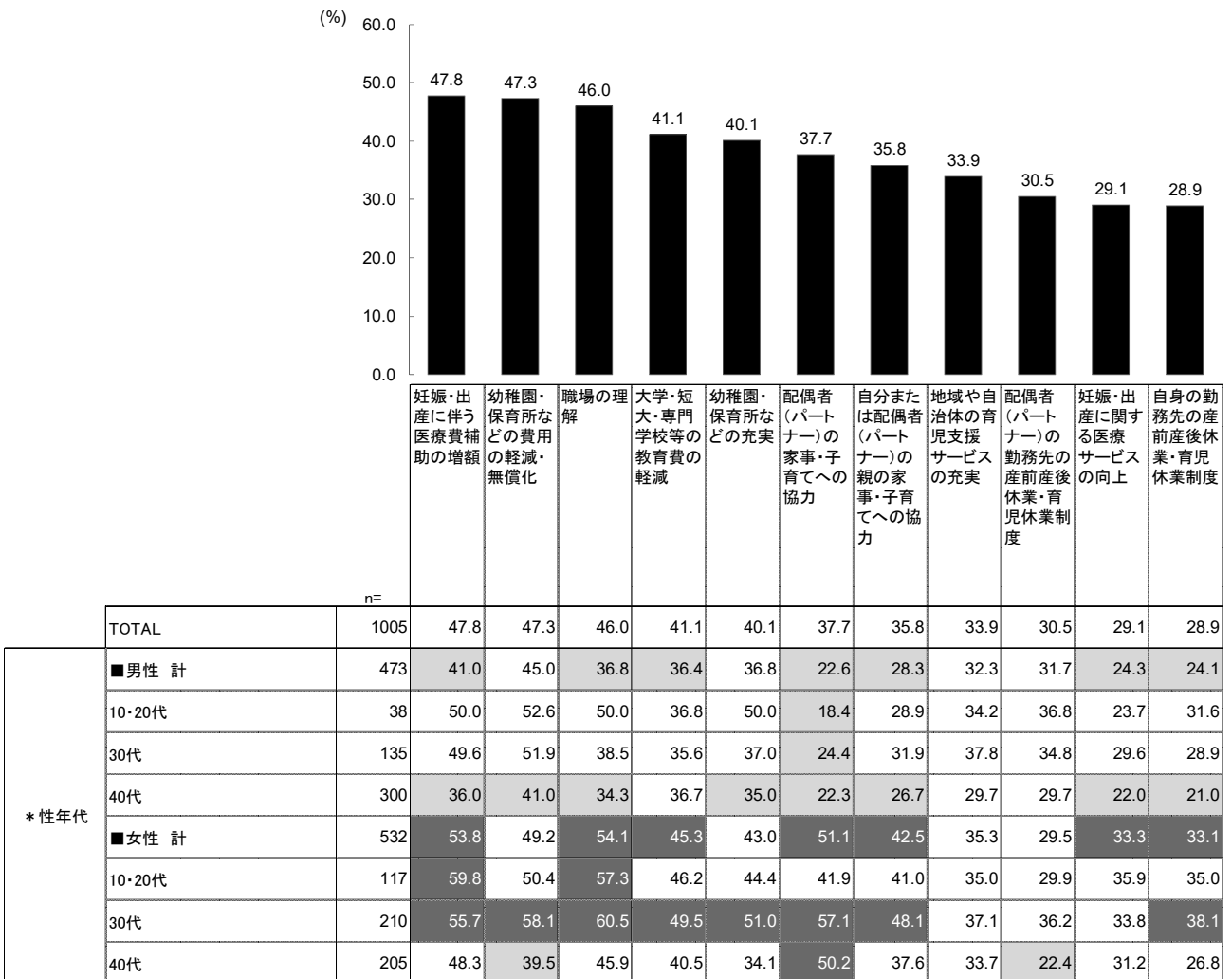
令和元年度調査(今回調査) 平成29、30年度調査	平成28年度調査	平成27年度調査
自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	高年齢で出産や子育てをするのはいやだから	高年齢で出産や子育てをするのはいやだから
健康面・体調面の理由から	健康面・体調面の理由から	健康上の理由から ほしいけれどもできないから
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の負担に耐えられないから
家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	家族の家事・育児への協力が得られないから	家族の家事・育児への協力が得られないから
家族(パートナー)が望まないから	家族が望まないから	家族が望まないから
自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから

問24 問22で「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない方にかがいます。  
 2人、3人と出産し、育てていくためには、どんなことが必要だと思われますか。  
 （回答はいくつでも）

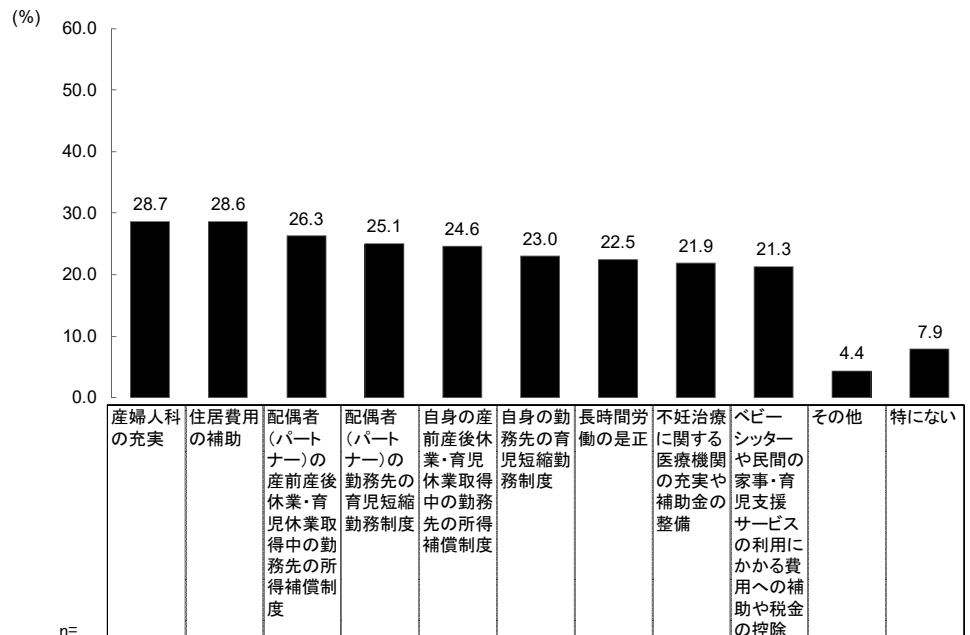
2人、3人と出産し、育てていくために必要だと思うことは、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」が47.8%と高く、以下、「幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化」（47.3%）、「職場の理解」（46.0%）と続く。

性・年代別にみると、上位7項目は女性30代で高めになっている。男性30代では、「長時間労働の是正」が37.0%と高くなっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



(前表のつづき)



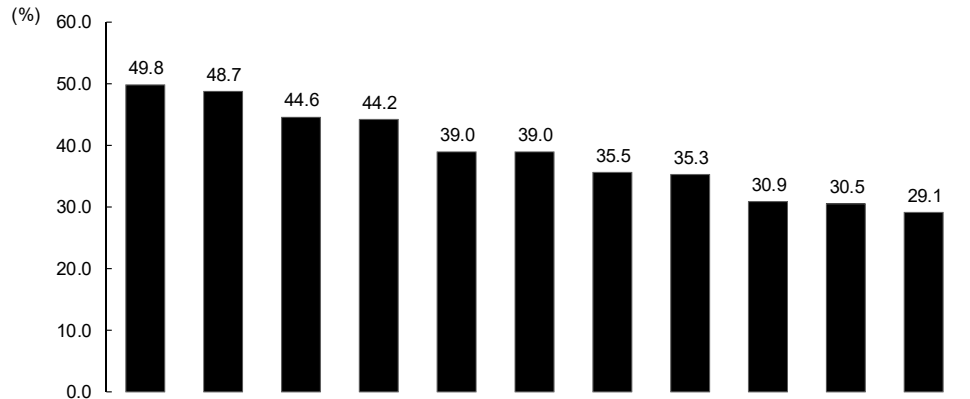
		n=	産婦人科の充実	住居費用の補助	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	自身の勤務先の育児短縮勤務制度	長時間労働の是正	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除	その他	特にない
TOTAL		1005	28.7	28.6	26.3	25.1	24.6	23.0	22.5	21.9	21.3	4.4	7.9
* 性年代	■男性 計	473	21.6	29.2	26.6	24.5	19.7	16.3	24.3	16.3	15.0	3.4	12.1
	10・20代	38	13.2	36.8	31.6	26.3	36.8	23.7	34.2	10.5	28.9	5.3	10.5
	30代	135	24.4	32.6	27.4	28.9	23.0	21.5	37.0	22.2	20.0	3.0	11.1
	40代	300	21.3	26.7	25.7	22.3	16.0	13.0	17.3	14.3	11.0	3.3	12.7
	■女性 計	532	35.0	28.0	25.9	25.6	28.9	28.9	20.9	26.9	26.9	5.3	4.1
	10・20代	117	30.8	25.6	28.2	30.8	31.6	29.9	19.7	16.2	24.8	2.6	6.8
	30代	210	38.6	36.7	28.1	27.1	33.8	33.3	27.1	29.5	31.9	6.7	1.9
	40代	205	33.7	20.5	22.4	21.0	22.4	23.9	15.1	30.2	22.9	5.4	4.9



「幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化」が49.8%と高く、以下、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(48.7%)、「職場の理解」(44.6%)、「大学・短大・専門学校等の教育費の軽減」(44.2%)と続く。

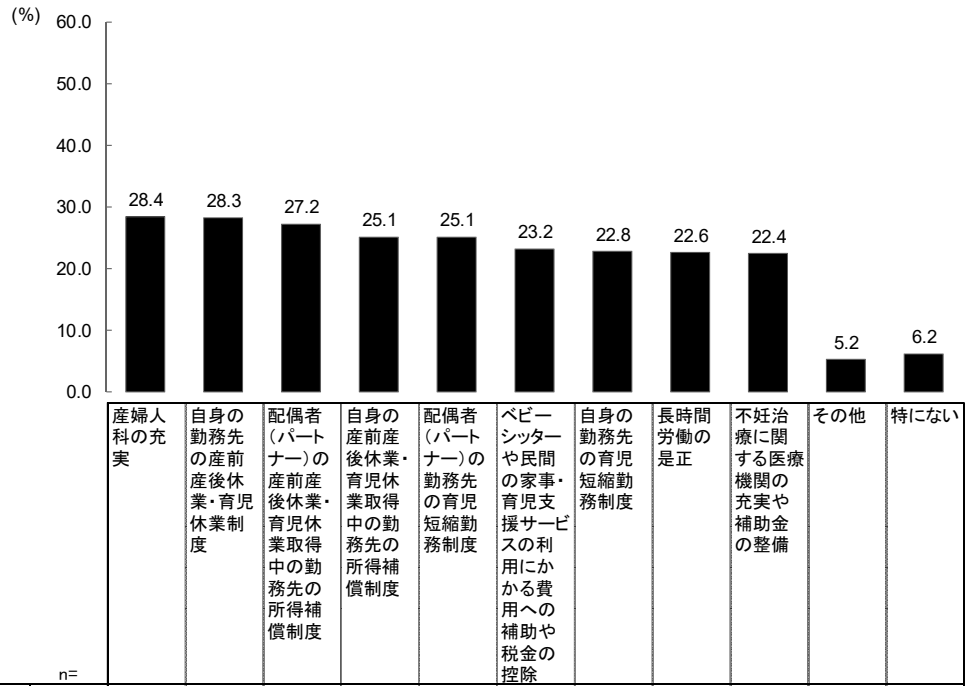
性・年代別にみると、女性10・20代では「幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化」、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(ともに69.2%)と高い。また、30代の男女では「長時間労働の是正」(男性：39.1%、女性：30.8%)が全体に比べて高くなっている。

<既婚者の場合>



		n=	幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	職場の理解	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減	幼稚園・保育所などの充実	配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力	自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力	地域や自治体の育児支援サービスの充実	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度	住居費用の補助	妊娠・出産に関する医療サービスの向上
TOTAL		729	49.8	48.7	44.6	44.2	39.0	39.0	35.5	35.3	30.9	30.5	29.1
* 性年代	■男性 計	346	47.7	43.6	35.5	38.7	34.7	22.5	27.7	34.7	30.9	30.9	26.0
	10・20代	10	60.0	80.0	40.0	60.0	60.0	10.0	30.0	50.0	40.0	50.0	20.0
	30代	92	55.4	56.5	35.9	38.0	34.8	26.1	27.2	39.1	31.5	37.0	35.9
	40代	244	44.3	37.3	35.2	38.1	33.6	21.7	27.9	32.4	30.3	27.9	22.5
	■女性 計	383	51.7	53.3	52.7	49.1	42.8	53.8	42.6	35.8	30.8	30.0	31.9
	10・20代	52	69.2	69.2	63.5	55.8	46.2	48.1	44.2	42.3	32.7	36.5	42.3
	30代	156	57.7	55.8	57.7	52.6	51.3	59.0	48.7	36.5	39.7	38.5	33.3
	40代	175	41.1	46.3	45.1	44.0	34.3	50.9	36.6	33.1	22.3	20.6	27.4

(前表のつづき)



		n=	産婦人科の充実	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除	自身の勤務先の育児短縮勤務制度	長時間労働の是正	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	その他	特にない
TOTAL		729	28.4	28.3	27.2	25.1	25.1	23.2	22.8	22.6	22.4	5.2	6.2
* 性年代	■男性 計	346	23.1	24.0	27.5	19.7	25.4	15.6	15.9	22.8	17.6	3.2	9.5
	10・20代	10	10.0	30.0	40.0	40.0	30.0	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30代	92	26.1	28.3	27.2	22.8	32.6	22.8	21.7	39.1	27.2	4.3	5.4
	40代	244	22.5	22.1	27.0	17.6	22.5	12.3	13.9	16.8	14.8	2.9	11.5
	■女性 計	383	33.2	32.1	26.9	30.0	24.8	30.0	29.0	22.5	26.6	7.0	3.1
	10・20代	52	30.8	32.7	34.6	40.4	32.7	40.4	34.6	21.2	17.3	3.8	0.0
	30代	156	36.5	38.5	31.4	34.0	27.6	34.0	33.3	30.8	27.6	9.0	1.9
	40代	175	30.9	26.3	20.6	23.4	20.0	23.4	23.4	15.4	28.6	6.3	5.1

問25 問22で「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない方がいます。

2019年10月から、3～5歳の児童の幼児教育・保育の無償化が行われます。幼児教育・保育の無償化により、今後のあなた（又はパートナー）の出産意向に影響しますか。（回答は1つ）

幼児教育・保育の無償化による出産意向については、「前向きになる」、「やや前向きになる」を合わせると3割強（33.9%）となっている。一方、「影響しない」は約4割（41.9%）であった。

性・年代別にみると、男女ともに若い年代ほど「前向きになる」、「やや前向きになる」を合わせた比率が高く、10・20代では約6割（男性57.9%、女性60.7%）、30代では約4割（男性43.0%、女性42.9%）、40代では約2割（男性20.3%、女性19.0%）となっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>

■前向きになる ■やや前向きになる ■あまり前向きにならない ■前向きにならない ■影響しない

		n=	(%)				
	TOTAL	1005	7.1	26.9	18.4	5.8	41.9
* 性年代	■男性 計	473	7.4	22.4	19.0	7.0	44.2
	10・20代	38	7.9	50.0			21.1 2.6 18.4
	30代	135	12.6	30.4	22.2	5.2	29.6
	40代	300	5.0	15.3	17.3	8.3	54.0
	■女性 計	532	6.8	30.8	17.9	4.7	39.8
	10・20代	117	9.4	51.3			19.7 3.4 16.2
	30代	210	8.1	34.8	21.0	3.8	32.4
	40代	205	3.9	15.1	13.7	6.3	61.0

既婚者の場合、「前向きになる」、「やや前向きになる」を合わせると約3割（28.4%）となる。

性・年代別にみると、男女ともに若い年代ほど「前向きになる」、「やや前向きになる」を合わせた比率が高く、女性10・20代では約6割（61.5%）、30代では3～4割（男性42.4%、女性34.6%）、40代では2割弱（男性18.0%、女性17.1%）となっている。

<既婚者の場合>

■前向きになる ■やや前向きになる ■あまり前向きにならない ■前向きにならない ■影響しない

		n=	(%)				
	TOTAL	729	7.1	21.3	16.9	7.0	47.7
* 性年代	■男性 計	346	7.5	18.8	16.2	8.4	49.1
	10・20代	10	10.0	70.0			10.0 10.0
	30代	92	15.2	27.2		18.5	6.5 32.6
	40代	244	4.5	13.5	15.6	9.4	57.0
	■女性 計	383	6.8	23.5	17.5	5.7	46.5
	10・20代	52	11.5	50.0			23.1 5.8 9.6
	30代	156	9.0	25.6		23.7	4.5 37.2
	40代	175	3.4	13.7	10.3	6.9	65.7

問26 問22で理想の子どもの数が0と回答した人にうかがいます。

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。

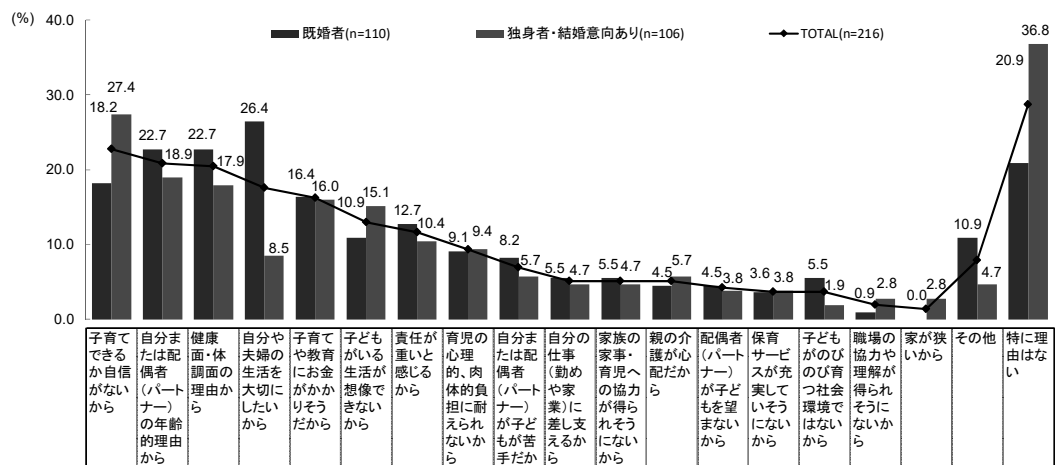
(回答はいくつでも)

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「子育てできるか自信がないから」(22.7%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(20.8%)、「健康面・体調面の理由から」(20.4%)等が上位に挙げられている。

既婚者の場合、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」(26.4%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」、「健康面・体調面の理由から」(ともに22.7%)、それぞれ2割を超えている。

独身者の場合、「子育てできるか自信がないから」(27.4%)が3割弱となっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



		n=	子育てできるか自信がないから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	子育てや教育にお金がかかりそうだから	子どもがいる生活が想像できないから	責任が重いと感ずるから	育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	家族の家事・育児への協力が得られそうにないから	親の介護が心配だから	配偶者(パートナー)が子どもを望まないから	保育サービスが充実していきそうにないから	子どもがのびのびな社会環境ではないから	職場の協力や理解が得られそうにないから	家が狭いから	その他	特に理由はない
TOTAL		216	22.7	20.8	20.4	17.6	16.2	13.0	11.6	9.3	6.9	5.1	5.1	5.1	4.2	3.7	3.7	1.9	1.4	7.9	28.7
* 婚姻状況	既婚者	110	18.2	22.7	22.7	26.4	16.4	10.9	12.7	9.1	8.2	5.5	5.5	4.5	4.5	3.6	5.5	0.9	0.0	10.9	20.9
	独身者・結婚意向あり	106	27.4	18.9	17.9	8.5	16.0	15.1	10.4	9.4	5.7	4.7	4.7	5.7	3.8	3.8	1.9	2.8	2.8	4.7	36.8

※グラフはTOTALの順でソート

問27 お子さんをお持ちのすべての方のうちがいます。  
 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親と同居していましたか。(回答は1つ)  
 【回答者：子どもが1人以上いる者】

男親の親と同居していた者は1割を超えており(父親：14.5%、母親：15.3%)、徒歩で30分程度の別居(近居)は3割強(父親：32.3%、母親：34.0%)である。

女親の親と同居していた者は約1割(父親：9.5%、母親：9.9%)、徒歩で30分程度の別居(近居)は3割強(父親：33.8%、母親：35.3%)である。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いなかった ■わからない

	n=	(%)			
男親の父親	1639	14.5	32.3	32.9	19.5 0.7
男親の母親	1639	15.3	34.0	36.9	12.8 1.0
女親の父親	1639	9.5	33.8	37.2	18.5 1.1
女親の母親	1639	9.9	35.3	41.7	11.9 1.2

問28 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答は1つ)  
 【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は15.1%で、9割弱は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が31.7%であり、女親の父親と似た傾向を示している。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が4割強(42.5%)となっている。

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	(%)			
男親の父親	1307	42.5	38.7	10.9	7.9
男親の母親	1413	31.7	39.3	17.7	11.3
女親の父親	1318	29.6	42.0	18.7	9.8
女親の母親	1425	15.1	36.1	29.3	19.6

※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

同居状況別にみると、同居の場合の方が日常的な手助けが多く、別居（近居以外）の場合には手助けがほとんどない割合が高い。

同居の場合、女親の母親からは54.3%が、男親の母親からは33.9%が、手助けが「日常的にあった」としている。

一方、別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けが「ひんぱんにあった」、「ときどきあった」がそれぞれ3割を超えている。また、男親の母親と女親の父親の手助けが「ひんぱんにあった」はそれぞれ2割を超えており、「ときどきあった」はそれぞれ4割強となっている。

### ① 同居

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	237	27.8	35.0	14.8	22.4
男親の母親	251	13.5	25.5	27.1	33.9
女親の父親	155	21.3	36.8	18.1	23.9
女親の母親	162	6.8	18.5	20.4	54.3

### ② 別居（近居）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	530	32.3	45.3	15.3	7.2
男親の母親	558	19.2	44.3	25.8	10.8
女親の父親	554	20.0	43.1	24.9	11.9
女親の母親	579	7.3	31.4	36.6	24.7

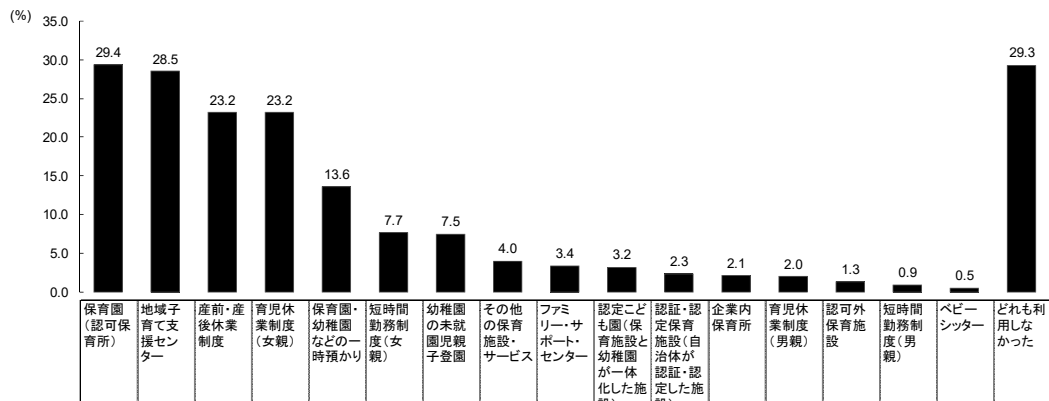
### ③ 別居（近居以外）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	540	59.1	33.9	4.8	2.2
男親の母親	604	50.8	40.4	6.3	2.5
女親の父親	609	40.4	42.2	13.1	4.3
女親の母親	684	23.7	44.2	25.1	7.0

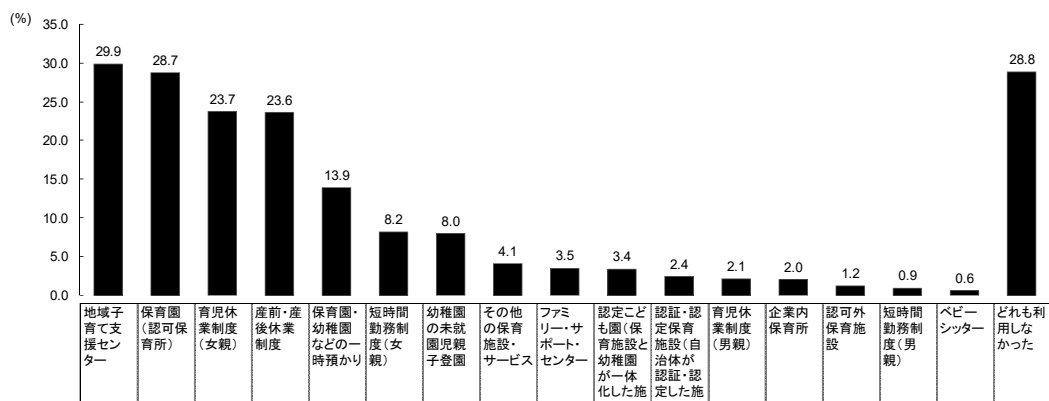
問29 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」が29.4%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」が28.5%、「産前・産後休業制度」が23.2%となっている。また、「育児休業制度（女親）」は23.2%となっているが、「育児休業制度（男親）」は2.0%にとどまっている。



n=		保育園（認可保育所）	地域子育て支援センター	産前・産後休業制度	育児休業制度（女親）	保育園・幼稚園などの一時預かり	短時間勤務制度（女親）	幼稚園の未就園児親子登園	その他の保育施設・サービス	ファミリー・サポート・センター	認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）	認定・認定保育施設（自治体が認定・認定した施設）	企業内保育所	育児休業制度（男親）	認可外保育施設	短時間勤務制度（男親）	ベビーシッター	どれも利用しなかった
TOTAL	1639	29.4	28.5	23.2	23.2	13.6	7.7	7.5	4.0	3.4	3.2	2.3	2.1	2.0	1.3	0.9	0.5	29.3
■男性 計	767	29.7	20.2	20.9	22.2	12.6	7.0	6.1	3.1	2.7	2.6	3.3	1.8	2.3	0.7	1.4	0.7	34.0
10・20代	15	26.7	53.3	46.7	46.7	6.7	20.0	13.3	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0
30代	224	26.3	27.7	21.4	21.0	12.9	7.6	8.5	3.6	2.7	5.4	2.7	4.0	3.1	0.9	1.3	0.9	30.4
40代	528	31.3	16.1	19.9	22.0	12.7	6.4	4.9	2.8	2.5	1.3	3.2	0.8	1.7	0.4	1.3	0.4	36.6
■女性 計	872	29.1	35.8	25.2	24.1	14.4	8.4	8.7	4.8	4.0	3.7	1.4	2.3	1.6	1.9	0.5	0.5	25.2
10・20代	97	22.7	39.2	32.0	29.9	5.2	8.2	1.0	3.1	2.1	2.1	0.0	4.1	3.1	1.0	1.0	0.0	23.7
30代	372	31.2	43.0	30.4	30.1	15.1	10.5	11.0	4.8	4.3	5.4	0.8	1.9	2.2	2.4	0.5	0.0	19.1
40代	403	28.8	28.3	18.9	17.1	16.1	6.5	8.4	5.2	4.2	2.5	2.2	2.2	0.7	1.7	0.2	1.0	31.3

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では、「育児休業制度（女親）」（59.6%）のほか、「産前・産後休業制度」（56.6%）、「保育園（認可保育所）」（42.5%）を利用している割合が高い。



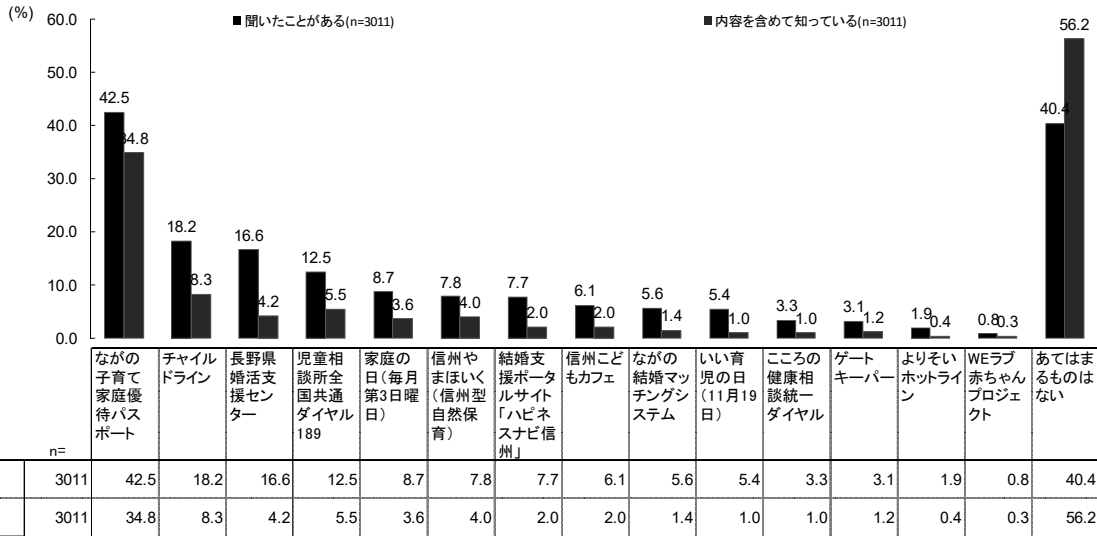
n=		地域子育て支援センター	保育園（認可保育所）	育児休業制度（女親）	産前・産後休業制度	保育園・幼稚園などの一時預かり	短時間勤務制度（女親）	幼稚園の未就園児親子登園	その他の保育施設・サービス	ファミリー・サポート・センター	認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）	認定・認定保育施設（自治体が認定・認定した施設）	育児休業制度（男親）	企業内保育所	認可外保育施設	短時間勤務制度（男親）	ベビーシッター	どれも利用しなかった
TOTAL	1493	29.9	28.7	23.7	23.6	13.9	8.2	8.0	4.1	3.5	3.4	2.4	2.1	2.0	1.2	0.9	0.6	28.8
■共働き家庭（どちらも正規社員・職員）	334	24.0	42.5	59.6	56.6	12.3	21.3	6.6	3.3	2.7	5.7	3.3	2.7	3.9	0.6	2.1	0.3	14.7
■共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）	575	28.3	31.5	15.3	15.1	15.7	4.9	6.4	3.5	4.0	3.3	2.4	1.6	1.0	1.6	0.5	0.5	30.8
■共働き家庭（その他）	145	18.6	28.3	20.0	19.3	15.2	7.6	8.3	5.5	2.8	1.4	4.1	0.7	2.8	2.1	0.0	2.1	38.6
■正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭	372	39.2	14.8	8.9	11.6	13.7	3.0	11.8	5.1	3.8	3.0	0.8	3.2	1.6	1.1	1.1	0.5	33.9
■非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭	40	47.5	12.5	2.5	5.0	0.0	0.0	5.0	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
■その他	27	40.7	14.8	14.8	14.8	11.1	3.7	7.4	7.4	3.7	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	25.9



問30 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はいくつでも)

結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポート」(42.5%)が最も高く、次いで「チャイルドライン」(18.2%)、「長野県婚活支援センター」(16.6%)、「児童相談所全国共通ダイヤル189」(12.5%)となっている。

内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポート」(34.8%)が最も高い。

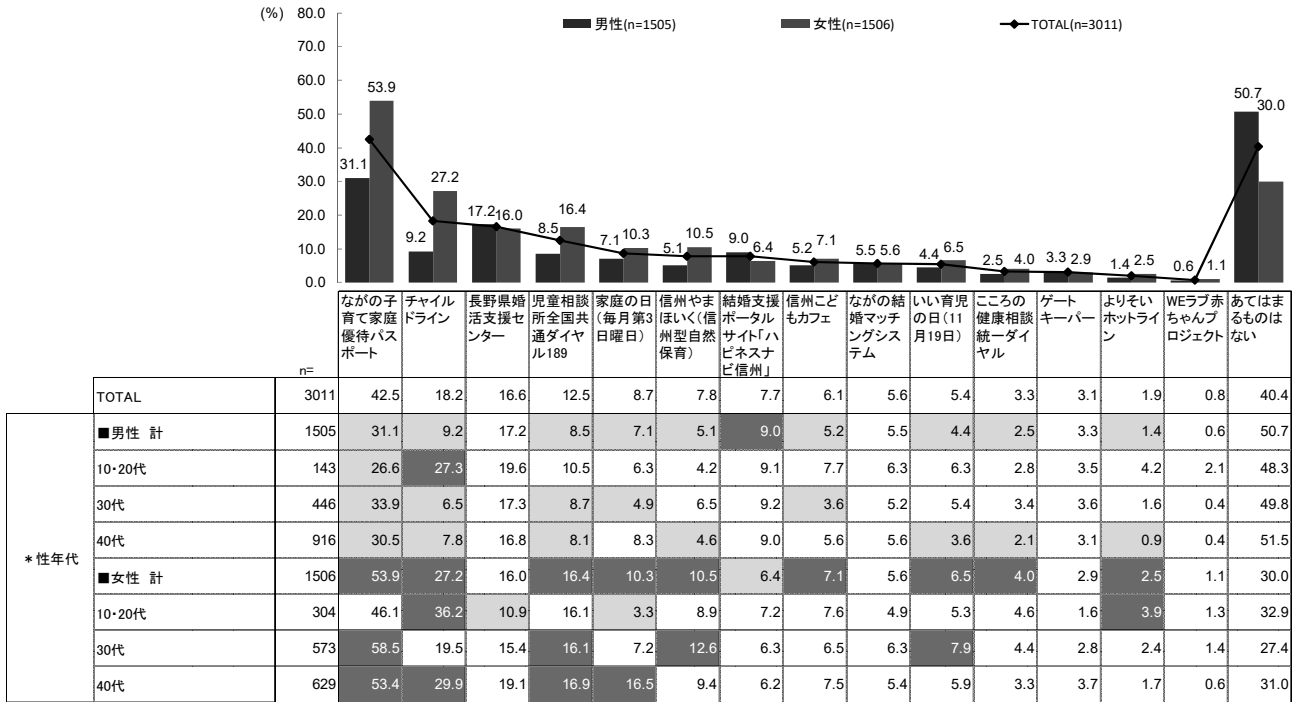


※グラフは「聞いたことがある」の順でソート

性・年代別にみると、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、いずれの項目も女性は男性よりも高い。特に、「ながの子育て家庭優待パスポート」は、女性30～40代で内容を含めて知っている割合が5割強となっている。

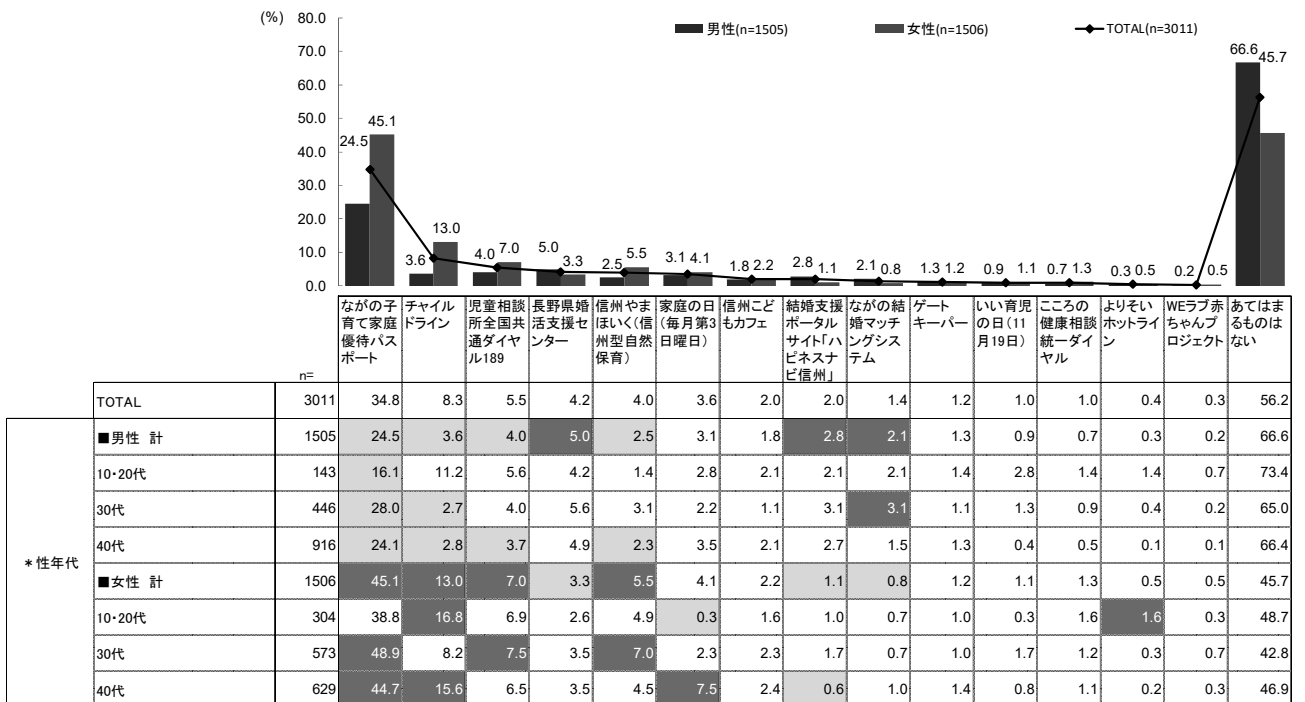
男性10・20代では、他の項目と比べて、「チャイルドライン」を聞いたことがある割合が27.3%と高くなっている。

### ① 聞いたことがあるもの



※グラフはTOTALの順でソート

### ② 内容を含めて知っているもの



※グラフはTOTALの順でソート

**問31 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。**

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

**【相談・情報に関すること】**

- ・ 地元ではないところに嫁いだので、知り合いもなく不安が多いです。アパート暮らしだと情報などもあまり入ってこないのが、情報誌など欲しいです。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ まだ具体的に結婚や子育てについて決まってないので これから相談出来る場所があったらいいと思う。（男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 婚姻届を出した時点で、県内で実施している結婚に関してや、子育てに関しての施設やイベントの案内があるなら定期的に送って欲しいです。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子供を産み育てるにあたって必要な費用の目安や、その準備の計画を立てる相談をしたい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ シングルマザーになる可能性があるときの補助支援等の事前相談窓口やわかりやすいHPがあればいいと思う。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供を遊ばせる施設の紹介冊子などあればありがたかった。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）

**【施設や設備に関すること】**

- ・ 雨の日でも遊べる室内施設があると助かる。子育てパスポートの利用可能施設を増やして欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 男性でも利用しやすいオムツ替えの場所や授乳室が増えるといい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 公共機関などにベビーカーの貸し出しやトイレの充実。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 小さい子どもの施設はあるが、小学校中学年以上の子どもが興味を持てる施設（博物館や科学館、美術館など）がないので、ぜひ作ってもらいたい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 小・中学校へのエアコン設置を早く進めて欲しいです。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 街の中を走るバスの数をもっと増やしてほしい。「子育てに優しいバス」のようなものを作り、子どもが泣いても騒いでも良い環境のバスがあると子どもを連れて移動しやすい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）

**【結婚支援全般に関すること】**

- ・ 結婚支援としては、参加しやすい日にち、分かりやすいところでの宣伝などをお願いしたいです。車通勤、職場と家の往復だとなかなか目に入ってくる機会がありません。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 結婚相談所を無料で日にち多めに開いて欲しい。（女性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 婚活パーティーなど出会いの場を安く提供してほしい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 婚活パーティーは敷居が高い気がするのでもっと自然な出会いができるようなイベントがあるといい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 結婚に関する悩みが多くても公共機関を利用することに恥じらいがあり踏み出せない。結婚するための相手探しと思うと身構えてしまい上手くいかないことが多かったのでも、共通の趣味の友達探しなどのラフな場があればいいと思う。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 婚活へ先日初めて行って見たが 40 代前後の方が多く、できれば歳の近い方とお話できればもっと楽しかったし、今後行ってみたいと思えた。自分は体を動かすことが好きなので、スポーツ婚活的なものが増えてきてくれると行ってみたいという希望があります。都会にはありそうだけど、やはり地元でっていう思いがある。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

### 【出産支援全般に関すること】

- ・子どもはとても欲しいがなかなか出来ない。かといって今子供ができるのが不安でもあるためちゃんとした妊活には結びついていない。（男性30代、既婚者、子どもはいない）
- ・夫婦で妊娠できるか検査したいが、気軽に無料または安く検査できるようにしてほしい。（女性10・20代、既婚者、子どもはいない）
- ・妊娠や、不妊治療への協力を企業が理解できるよう働きかけをお願いしたい。（女性40代、既婚者、子どもがいる）
- ・高額な不妊治療をしても、子どもを「絶対」授かるとも限らない。子どもを授かれる夫婦ばかりではない。でも、経済的にも肉体的にも精神的にも辛い不妊治療は嫌だ。不妊治療の費用補助制度、欲しくても授けられない夫婦の為に何とかならないものなのか？（女性30代、既婚者、子どもはいない）
- ・分娩のできる産婦人科が少なすぎると思う。妊産婦の負担軽減に対して工夫している自治体もあるが、妊娠初期から分娩後まで、継続して同じ病院に通えらるととても安心するので、分娩可能な病院が増えるといいと思う。（女性30代、既婚者、子どもがいる）
- ・出産のお祝い金など経済的な支援制度があればいいと思う。（男性40代、既婚者、子どもがいる）
- ・高齢出産のリスクをもっとアピールして欲しい。結婚は遅くてもかまわないと思っていた。高齢出産をしている方が多いのでリスクなんてあまり考えなかった。（女性40代、既婚者、子どもはいない）

### 【若者支援全般に関すること】

- ・行き場のない子供たちのサポートを強化してほしい。（女性40代、既婚者、子どもがいる）
- ・大学の入学費などの費用を軽減してほしい。（男性10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・高卒や大学を卒業して地元就職を希望していても働く場所がない。せっかく街に新しい施設を作っても都会の企業に丸投げして地元住民の雇用がない。町の住民を雇用していくやり方を考えて欲しい。（女性40代、既婚者、子どもがいる）
- ・新卒で県外から長野県へ移住しました。自然豊かな環境で仕事がしたいと思い非正規で働いていましたが、そのような若者向けに地域おこし協力隊以外に家賃補助や住宅補助があると良いと思いました。（空き家バンクは賃貸がなく、市営住宅には移住者は入れず、地域おこし協力隊は永住となると敷居が高い。金銭的に厳しかった。）（女性10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・若者支援もなかなか成果が出ないうちに、若者でなくなるため、若者だけでなく引きこもりや未就労の方の支援も大事だと思います。（男性40代、既婚者、子どもがいる）

### 【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・金銭的な補助が一番難しいと思う。あとは職場での理解、男性の育児休暇等の理解を深める働きをしてほしい。（男性10・20代、既婚者、子どもはいない）
- ・子育てをしたい。仕事をして収入も得たい。両方とも叶えることは難しく、やってくれる企業もほとんどない。もっと、寄り添って考えてくれる企業が増えるとありがたいと思います。（女性30代、既婚者、子どもがいる）
- ・出産、子育てをした人が、社会的に不利な立場にならない様にして欲しい。出産や子育てを理由に仕事での待遇を低くする事を禁止したり、税金や社会保険料負担が、子育てしていない人と同じだと負担が大きくなる事に配慮して欲しい。（女性30代、既婚者、子どもがいる）
- ・未満児を預けられる保育園、定員が少ない。保育園が決まっていなければ雇用してもらえないのに、働いてないと入園出来ないのは矛盾している。（女性40代、既婚者、子どもがいる）
- ・病児保育施設の充実、無償化。急に子供の具合が悪くなった時に休みやすい職場の環境。（女性30代、既婚者、子どもがいる）
- ・妊娠・出産を期に仕事を辞めた人が、産後に新たに就職できるようなサポートがあると嬉しい。新卒の合同説明会のような機会があったらいいと思う。（女性10・20代、既婚者、子どもがいる）

### 【子育て支援全般に関すること】

- ・ 子育てするにも資金が足りない。市町村によって違うのはおかしい。多子世帯への優遇措置をしつかり取らないと子供を欲しくても叶わない人たちもいる。少子化とか言ってるけど、保育園も十分になく待機児童もいる状況で収入も少なく大変。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供 2 人の世帯に恩恵が少ない。保育園幼稚園無料にも当てはまらず、幼児期はお金がかさんだ。平等に無償化を行って欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 3 人以上の子どもを育てることが経済的に負担にならないような支援制度をお願いしたい。（男性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 未満児保育ももう少し安くなってほしい。第二子出産時第一子が保育園退園になったので困った。出産になっても継続をお願いしたい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 医療費を無料にしてほしい。ファミリーサポートやベビーシッターをもっと安く、利用しやすいようにしてほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ ファミリーサポートの内容を充実してほしい。もっと気軽にネットで頼めるようにしてほしい。また説明会もネット経由にしたりしてほしい。小さい子どもを連れて説明会に行くのは大変。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 小学生以上の子どもを預かってくれる場所をもっと増やして欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育て支援では幼い子には手厚い支援があるが、実際は高校生からお金がかかり負担が大きいので、もう少し児童手当をいただけたらと思います。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 若者が結婚して子供を作らない最大の理由は、大学等を考えると教育費を賄いきれる給料が貰えないことが最大の要因である。県への要望としては、将来を心配しないで済むような、子供が小さいうちの政策だけでなく、子供が大きくなった時の教育費への具体的な現金での手当の額を増やすことでしか支援にはなりえないと思う。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ チャイルドシートの補助金制度を作って欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子育て優待パスポートなど日常でいつも使えるサービスが増えてほしいなと思います。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 働きながら子供を育てるとなると、PTA などの活動がかなりの負担となる。任意団体といえど、実際は加入しないといけない。見直しを検討してください。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 近くに親族などが住んでいなくても安心して子育てできる環境がほしい。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ シングルマザーへの支援を手厚くしてほしい。幼児教育無償かなんか意味ない。得するのは金持ちだけだから。児童手当を所得に応じて上乘せしてほしい。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 障害を持つ人が子育てをする場合の支援の窓口がもっと欲しい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供に障害があるので、もっと気軽に相談したり、預ける事が出来ると助かる。ダブルケアラーなので、お互いの状況を把握した上でのサービスを考えてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）

### 【その他】

- ・ 労働環境の改善と安定して生活できるだけの賃金が支払われなければ、結婚しようとか子供が欲しいとは思わない。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 支援して欲しいのは若者だけではない。中高年の生活に余裕がない事も子供を持つことに影響がある事も知って欲しい。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子供を作らない、結婚しないできない社会人をとやかく言わないような県民性を作り上げてほしい。（男性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 子育て支援の充実はもちろんですが、他のところで税金が家計を圧迫していたら意味が無い。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 県が支援ではなくて市町村が支援すべきで、それに伴うコストは県が支える形とし、市町村ごとに子育て支援に差がある形として住民に市町村を選ばせたらいい。子育て優待パスポートも全県でや

っていてもそれがあるから近隣市町村に行くかといえば行かない。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）

- ・ 必要なのは育児に関する“人の整備”だと思います。保育園や幼稚園の建設を反対する住民によって増えにくいところもあるそうですが、その問題は学校での教育によって解決できるのではないかと思います。環境や金銭面での整備と同じくらい人の整備も大事だと思います。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 保育料無償化よりも保育士不足の解消、保育環境の充実の方が急務。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育てに関し相談出来る機関があったとしても、相談する人はするし、しない人はしない。結局はパートナーがキチンと妻と向き合うかどうかだと思う。旦那が思うより赤ちゃんを抱えて毎日を過ごしている妻は孤独だししんどい。20 年前も今もそれは変わっていない現実だと思う。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 転勤族で、お互いの両親は県外在住です。緊急な場合に、どうしても困った時に、すぐに助けてもらえるシステムがあると心強いと思う。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 大学生がたくさん住んでいるので大学生向けの結婚支援、子育て支援、就職支援があってもいいと思う。自分は地元の大学だったが当時付き合ってた大学生カップルが、のちのち結婚して他県で家建てて子供数人産んでる友達が何人かいるので、そういう人をサポートして長野県で就職して子育てしてもらおうようにした方がお見合い、不妊治療から面倒みるより手っ取り早いと思う。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）

## 附属資料(調査票)

本調査

### 長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

このアンケートには年収についてうかがう内容が含まれています。

6月1日時点の状況でお答えください。

共通パート

(調査内容)

Q 1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

Q 2 あなたの年齢をお答えください。

	歳
--	---

Q 3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

- |    |                      |   |
|----|----------------------|---|
| 1  | <u>&lt;佐久地域&gt;</u>  | 小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町        |
| 2  | <u>&lt;上小地域&gt;</u>  | 上田市、東御市、長和町、青木村   |
| 3  | <u>&lt;諏訪地域&gt;</u>  | 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村                                |
| 4  | <u>&lt;上伊那地域&gt;</u> | 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村                       |
| 5  | <u>&lt;飯伊地域&gt;</u>  | 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村 |
| 6  | <u>&lt;木曾地域&gt;</u>  | 上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村                                |
| 7  | <u>&lt;松本地域&gt;</u>  | 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村                        |
| 8  | <u>&lt;大北地域&gt;</u>  | 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村                                     |
| 9  | <u>&lt;長野地域&gt;</u>  | 長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村                    |
| 10 | <u>&lt;北信地域&gt;</u>  | 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村                              |
| 11 | この中にはない              |   |

Q 4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

1 現在、結婚(事実婚を含む)している	3 結婚したことはない
2 結婚していたが、現在は離・死別した	

独身者パート <Q4で2、3と回答した人に>

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q5 あなたのご両親と現在のあなたとの同居/別居についてうかがいます。(回答はそれぞれ1つ)

	同居	別居(近居)	別居 (近居以外)	いない
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q6 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1	すでに結婚する予定がある	4	いずれは結婚したい
2	すぐにも結婚したい	5	結婚するつもりはない
3	2・3年以内に結婚したい	6	わからない

Q7 (Q6で1～4と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

1	お金を自由に使えるか	7	ファッションや食べ物の好みは制約されないか
2	職業を自由に選べるか	8	相手の両親とうまく付き合えるか
3	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	9	自由な人生設計ができるか
4	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	10	自分に子育てができるか
5	住む場所が制約されないか	11	その他 具体的に:( )
6	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	12	特に気になることはない

Q8 (Q6で1～4と回答した人に)

あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目についてどの程度重視しますか。(回答はそれぞれ1つ)

	重視する	考慮する	あまり関係ない
相手の学歴	1	2	3
相手の職業	1	2	3
相手の収入などの経済力	1	2	3
相手の人から	1	2	3
相手の容姿	1	2	3
相手の家族構成・状況	1	2	3
共通の趣味の有無	1	2	3
自分の仕事に対する理解と協力	1	2	3
家事・育児に対する能力や姿勢	1	2	3

Q9 (Q6で1～4と回答した人に)

結婚生活を送るにあたって相手に求める年収(税込)は、どのくらいですか。あてはまるものをお選びください。(回答は1つ)

1	1～99万円	8	700万円台
2	100万円台	9	800万円台
3	200万円台	10	900万円台
4	300万円台	11	1,000万円以上
5	400万円台	12	収入は関係ない
6	500万円台	13	わからない
7	600万円台		



Q10 (Q9で1～11と回答した人に)

前問でお答えになった金額を希望する理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- 1 自分の収入と同じくらいだから
- 2 この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから
- 3 自分の収入より多い方がいいから
- 4 自分の収入より少ない方がいいから
- 5 相手には、最低限このくらいは稼いでいてほしいから
- 6 その他 具体的に：( )

Q11 (Q6で2～5と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

- 1 結婚するにはまだ若すぎるから
- 2 結婚する必要性を感じないから
- 3 仕事(または学業)に打ち込みたいから
- 4 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから
- 5 趣味や娯楽を楽しみたいから
- 6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
- 7 適当な相手にまだめぐり会わないから
- 8 異性とうまく付き合えないから
- 9 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない
- 10 結婚生活のための住居のめどがたたないから
- 11 子育てする自信がないから
- 12 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
- 13 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから
- 14 名字を変えたくないから
- 15 その他 具体的に：( )
- 16 これ以上理由はない

Q12 (Q11で7と回答した人に)

「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

- 1 そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない
- 2 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない
- 3 結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう
- 4 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
- 5 そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない
- 6 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
- 7 その他 具体的に：( )
- 8 答えたくない

Q13 (Q12で1と回答した人に)

どのような環境、支援があれば出会いの機会が増えると思いますか。(回答は3つまで)

- |   |
|---|
| 1 各種イベント等による出会いの場の提供                            |
| 2 交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催                        |
| 3 結婚に関する悩み相談                                    |
| 4 公的な結婚相談所によるお相手紹介                              |
| 5 年齢、年収、学歴等、自分の希望する条件に合う相手を検索できるデータマッチングシステムの導入 |
| 6 民間の結婚相談所やインターネットサイトの登録料・会費の補助                 |
| 7 若者の結婚を応援するようなPR活動の実施                          |
| 8 企業間・異業種交流事業の実施                                |
| 9 安定した雇用機会の提供                                   |
| 10 長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進                    |
| 11 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実                      |
| 12 その他 具体的に：( )                                 |
| 13 わからない  |
| 14 特にない   |

Q14 (Q6で2～4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 友人、職場の同僚や先輩に頼む              |
| 2 合コンに参加する                    |
| 3 インターネットサイト・SNSを活用する         |
| 4 婚活パーティーに参加する                |
| 5 趣味のサークルに入る                  |
| 6 お見合いをする                     |
| 7 民間の結婚相談所に登録する               |
| 8 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する |
| 9 その他 具体的に：( )                |
| 10 特に行っていない・行う予定はない           |

Q15 (Q14で10と回答した人に)

婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 忙しくて時間がないから                       |
| 2 自然な流れで出会いたいから                     |
| 3 交際相手がいるから                         |
| 4 面倒だから                             |
| 5 そこまでする必要を感じないから                   |
| 6 何をすればよいかわからないから                   |
| 7 婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから        |
| 8 婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから |
| 9 婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから            |
| 10 婚活サービスは参加料金が安いから                 |
| 11 婚活サービスは日程が合わないから                 |
| 12 その他 具体的に：( )                     |
| 13 答えたくない                           |

**既婚者パート** <Q4で1と回答した人に>

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

Q16 結婚したときのご夫婦の年齢をお答えください。

夫	<input type="text"/>	歳
妻	<input type="text"/>	歳

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q17 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。（回答は1つ）

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトや SNS で
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：( )
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

Q18 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（回答は2つまで）

1 年齢的に適当な時期だと感じた	6 結婚生活を送るために必要な収入の目途が
2 できるだけ早く一緒に暮らしたかった	立った、または結婚資金が用意できた
3 できるだけ早く子どもがほしかった	7 友人や同世代の人たちの結婚
4 子どもができた	8 親や周囲のすすめ
5 自分または相手の仕事の事情	9 その他 具体的に：( )

**共通パート**

【すべての方とうかがいます。】

Q19 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身  
(2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：( )
4 自営業主・家族従業員	

【現在、お仕事をお持ちの方とうかがいます。】

Q20 (Q19で1～4と回答した人に)

差し支えなければ、あなたの昨年の収入（年収）をお答えください。結婚されている方は、配偶者（パートナー）の収入（年収）もお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身  
(2) あなたの配偶者（パートナー）

1 なし	8 600万円台
2 1～99万円	9 700万円台
3 100万円台	10 800万円台
4 200万円台	11 900万円台
5 300万円台	12 1,000万円以上
6 400万円台	13 覚えていない・答えたくない
7 500万円台	

Q21

女性の場合：育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方はどれですか。(回答は1つ)

男性の場合：育児と仕事との関係で、あなたが理想とする配偶者(パートナー)の生き方は次のどれですか。(配偶者・パートナーがいない方は、いると仮定してお答えください。)(回答は1つ)

1 結婚も出産もせず、働き続ける	5 出産を機に、いったん退職するが、子どもの手が離れたら働く
2 結婚はするが、出産しないで働き続ける	6 出産退職後は、育児に専念する
3 出産するが、子どもの成長に関係なく働き続ける	7 出産の有無に関係なく、結婚後働かない
4 出産するが、子どもの成長に応じて働き方を変えていく	8 その他 具体的に：( )
	9 わからない

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q22 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

※0人の場合は「0」を入力してください。

(1) 現在の子どもの数	未就学児 (0～6歳)	<input type="text"/>	人
	小学生 (6～12歳)	<input type="text"/>	人
	中学生 (12～15歳)	<input type="text"/>	人
	その他 (15歳以上)	<input type="text"/>	人

(2) 理想の子どもの数	<input type="text"/>	人
--------------	----------------------	---

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に  
欲しい子どもの数(今いる子や妊娠中の子を含む)

(3) 実際に持つつもり(予定)の子どもの数	<input type="text"/>	人
------------------------	----------------------	---

※今いる子や妊娠中の子を含む

【Q22で、「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q23 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2 家が狭いから
3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から
7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8 健康面・体調面の理由から
9 家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
10 家族(パートナー)が望まないから
11 自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから
12 その他 具体的に：( )
13 特に理由はない

【Q22で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q24 2人、3人と出産し、育てていくためには、どんなことが必要だと思われますか。（回答はいくつでも）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 妊娠・出産に伴う医療費の増額                            |
| 2  | 妊娠・出産に関する医療サービスの向上                        |
| 3  | 産婦人科の充実                                   |
| 4  | 不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備                    |
| 5  | 幼稚園・保育所などの充実                              |
| 6  | 幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化                       |
| 7  | 地域や自治体の育児支援サービスの充実                        |
| 8  | ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除 |
| 9  | 大学・短大・専門学校等の教育費の軽減                        |
| 10 | 住居費用の補助                                   |
| 11 | 配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力                     |
| 12 | 自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力              |
| 13 | 自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度                      |
| 14 | 配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度              |
| 15 | 自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度              |
| 16 | 配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度      |
| 17 | 自身の勤務先の育児短縮勤務制度                           |
| 18 | 配偶者（パートナー）の勤務先の育児短縮勤務制度                   |
| 19 | 職場の理解                                     |
| 20 | 長時間労働の是正                                  |
| 21 | その他 具体的に：（ ）                              |
| 22 | 特にない                                      |

【Q22で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q25 2019年10月から、3～5歳の児童の幼児教育・保育の無償化が行われます。幼児教育・保育の無償化により、今後のあなた（又はパートナー）の出産意向に影響しますか。（回答は1つ）

- |   |          |   |             |   |       |
|---|----------|---|-------------|---|-------|
| 1 | 前向きになる   | 3 | あまり前向きにならない | 5 | 影響しない |
| 2 | やや前向きになる | 4 | 前向きにならない    |   |       |

【Q22で、「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。】

Q26 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。（回答はいくつでも）

- |   |                           |    |                         |
|---|---------------------------|----|-------------------------|
| 1 | 責任が重いとを感じるから              | 10 | 家が狭いから                  |
| 2 | 子育てや教育にお金がかかりそうだから        | 11 | 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから    |
| 3 | 保育サービスが充実していそうにないから       | 12 | 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から |
| 4 | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから         | 13 | 健康面・体調面の理由から            |
| 5 | 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから      | 14 | 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから   |
| 6 | 職場の協力や理解が得られそうにないから       | 15 | 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから |
| 7 | 子どもがいる生活が想像できないから         | 16 | 親の介護が心配だから              |
| 8 | 自分または配偶者（パートナー）が子どもが苦手だから | 17 | 子育てできる自信がないから           |
| 9 | 配偶者（パートナー）が子どもを望まないから     | 18 | その他 具体的に：（ ）            |
|   |                           | 19 | 特に理由はない                 |

【お子さんをお持ちのすべての方にかがいます。】

Q27 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。  
（回答はそれぞれ1つ）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居(近居)	別居 (近居以外)	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4	5
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q28（Q27で1～3と回答した人に）

お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんど なかった	ときどき あった	ひんぱんに あった	日常的に あった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4

Q29 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。（回答はいくつでも）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

1 産前・産後休業制度
2 育児休業制度（男親）
3 育児休業制度（女親）
4 短時間勤務制度（男親）
5 短時間勤務制度（女親）
6 保育園（認可保育所）
7 認証・認定保育施設（自治体が認証・認定した施設）
8 認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
9 企業内保育所
10 認可外保育施設
11 ベビーシッター
12 ファミリー・サポート・センター
13 保育園・幼稚園などの一時預かり
14 地域子育て支援センター
15 幼稚園の未就園児親子登園
16 その他の保育施設・サービス

17 どれも利用しなかった

【すべての方にうかがいます。】

Q30 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

- (1) 聞いたことがあるもの
- (2) 内容も含めて知っているもの

1 長野県婚活支援センター	9 家庭の日 (毎月第3日曜日)
2 結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」	10 いい育児の日 (11月19日)
3 ながの結婚マッチングシステム	11 WEラブ赤ちゃんプロジェクト
4 ながの子育て家庭優待パスポート	12 こころの健康相談統一ダイヤル
5 信州やまほいく (信州型自然保育)	13 よりそいホットライン
6 信州こどもカフェ	14 ゲートキーパー
7 チャイルドライン	15 あてはまるものはない
8 児童相談所全国共通ダイヤル 189	

Q31 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

(例：近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい など)

※特にない方は、「特になし」とご入力ください。

自由記述

## **長野県民の結婚・出産・子育てに関する調査報告書**

令和元年9月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス [shoushika@pref.nagano.lg.jp](mailto:shoushika@pref.nagano.lg.jp)